

浪江町 住民意向調査 報 告 書

平成30年3月

復興庁
福島県
浪江町

浪江町 住民意向調査

報 告 書

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果のまとめ	5
2-1 現在の状況	7
2-1-1 職業（問2（1））	7
2-1-2 世帯人数（問4・問7）	7
2-1-3 現在の居住自治体（問6）	8
2-1-4 現在の住居形態（問8）	8
2-2 将来の意向	9
2-2-1 帰還の意向（問9）	9
2-2-2 今後の生活において必要だと感じていること （問9-1）	10
2-2-3 帰還する場合の家族（問11）	11
2-2-4 帰還した場合の住居形態（問11-2）	11
2-2-5 帰還の時期（問11-5）	12
2-2-6 帰還する場合に不足していると感じる支援（問11-6）	12
2-2-7 帰還する場合の条件（問11-8）	13
2-2-8 帰還を判断するために必要なこと（問12）	14
2-2-9 帰還しないと決めている理由（問13）	15
2-2-10 帰還しない場合または帰還するまでの間に居住を 希望する自治体（問14）	16
2-2-11 帰還しない場合または帰還するまでの間の今後の 住居形態（問14-1）	16
2-2-12 帰還しない場合または帰還するまでの間の浪江町との 関係（問14-2（1））	17

2-2-13	帰還しない場合または帰還するまでの間に必要な支援 (問 14-2 (2))	18
2-3	不動産の取り扱い	19
2-3-1	浪江町内に保有している家屋の利用意向 (問 16)	19
2-3-2	浪江町内に保有している宅地の利用意向 (問 17)	19
2-3-3	浪江町内に保有している農地の利用意向 (問 18)	20
III	調査結果	21
3-1	回答者の属性	23
3-1-1	性別	23
3-1-2	年齢	23
3-1-3	現在の職業 (就業形態)	24
3-1-4	現在の職業 (業種)	25
3-1-5	今後の継続意向	26
3-1-6	今後町内で働く場合に希望する職業 (就業形態)	26
3-1-7	今後町内で働く場合に希望する職業 (業種)	27
3-2	東日本大震災発生時および震災前の状況	28
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	28
3-2-2	震災発生当時の世帯構成・人数	28
3-2-3	震災発生当時の住居形態	29
3-3	現在の状況	30
3-3-1	現在の居住自治体	30
3-3-2	現在の世帯構成・人数	30
3-3-3	現在の住居形態	31
3-3-4	持ち家の取得形態	31
3-3-5	持ち家取得前に住んでいた住宅の住居形態	32
3-3-6	持ち家に入居後の問題点	32
3-4	将来の意向	33
3-4-1	浪江町への帰還意向	33
3-4-2	浪江町内での今後の生活において必要だと感じている こと	36
3-4-3	浪江町内での今後の生活において必要だと感じている ことの具体的な考え	37
3-4-4	回答者が浪江町に定期的に戻る頻度	38
3-4-5	回答者の家族が浪江町に定期的に戻る頻度	38
3-4-6	回答者もしくは回答者の家族が浪江町に定期的に戻る 理由	39
3-4-7	浪江町へ帰還する場合の家族	40

3-4-8	浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数	41
3-4-9	浪江町へ帰還する場合に希望する住居形態	42
3-4-10	浪江町へ帰還する場合に元の住居以外を希望する理由	42
3-4-11	浪江町へ帰還する場合に元の住居以外を希望する際の 住まい	43
3-4-12	浪江町へ帰還する場合の帰還時期	44
3-4-13	浪江町へ帰還する場合に不足していると感じる支援	45
3-4-14	浪江町へ帰還する場合にすぐにでもやりたいこと	46
3-4-15	浪江町へいずれ戻りたい場合の帰還時期を判断する条件	47
3-4-16	浪江町への帰還を判断するために必要なこと	48
3-4-17	浪江町へ帰還しないと決めている理由	49
3-4-18	浪江町へ帰還するうえで必要な職業（就業形態）	50
3-4-19	浪江町へ帰還するうえで必要な職業（業種）	50
3-4-20	浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間に 居住を希望する自治体	51
3-4-21	浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間の 今後の住居形態	51
3-4-22	浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間の 浪江町との関係	52
3-4-23	浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間に 必要な支援	52
3-4-24	震災発生当時の居住地域に望む将来の姿	53
3-5	不動産の取り扱い意向	55
3-5-1	浪江町内に保有している家屋の利用意向	55
3-5-2	浪江町内に保有している宅地の利用意向	55
3-5-3	浪江町内に保有している農地の利用意向	56
3-5-4	農地の保全を目的とする組合設立への考え	56
3-6	情報の入手	57
3-6-1	浪江町からの情報の入手経路	57
3-6-2	浪江町役場からの情報提供への満足度	57
3-6-3	浪江町役場から提供してほしい情報	58
3-7	意見・要望	59
3-7-1	意見に係る記入内容の分類結果	60
3-7-2	生活について	61
3-7-3	震災発生前の居住地について	63
3-7-4	賠償について	65
3-7-5	帰還について	67

3-7-6	避難期間中及び将来の住宅について	68
3-7-7	除染について	70
3-7-8	復旧・復興について	71
3-7-9	原発の安全性について	72
3-7-10	原発事故に対する対応について	73
3-7-11	その他	75
IV 参考資料		77
4-1	使用調査票	79

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた浪江町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	浪江町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 8,637 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成 29 年 12 月 11 日（月）～平成 29 年 12 月 25 日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、浪江町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 4,092 世帯（有効回収率 47.4%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ n = Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

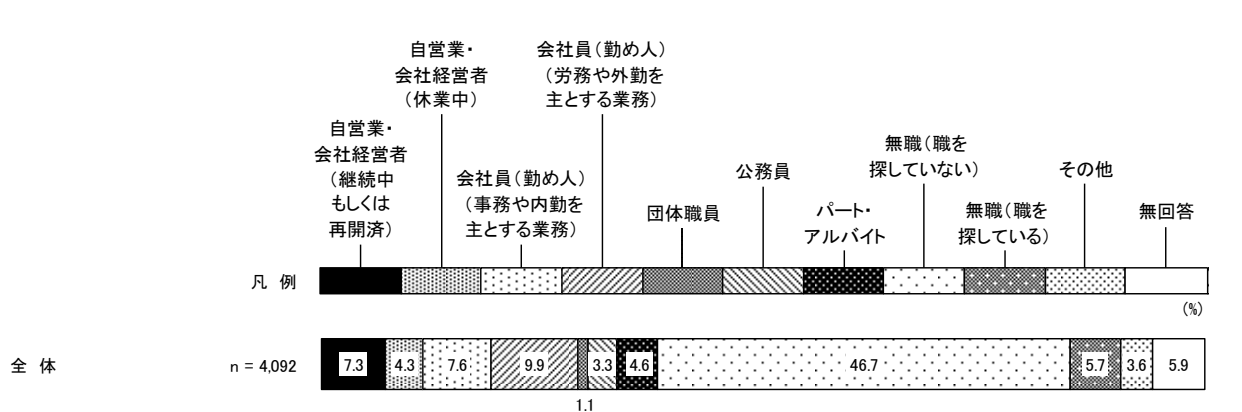
II 調査結果のまとめ

2-1 現在の状況

2-1-1 職業（問2（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない・職を探している）」以外では、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が9.9%、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が7.6%、「自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）」が7.3%と高くなっている。

<図表2-1-1 職業>

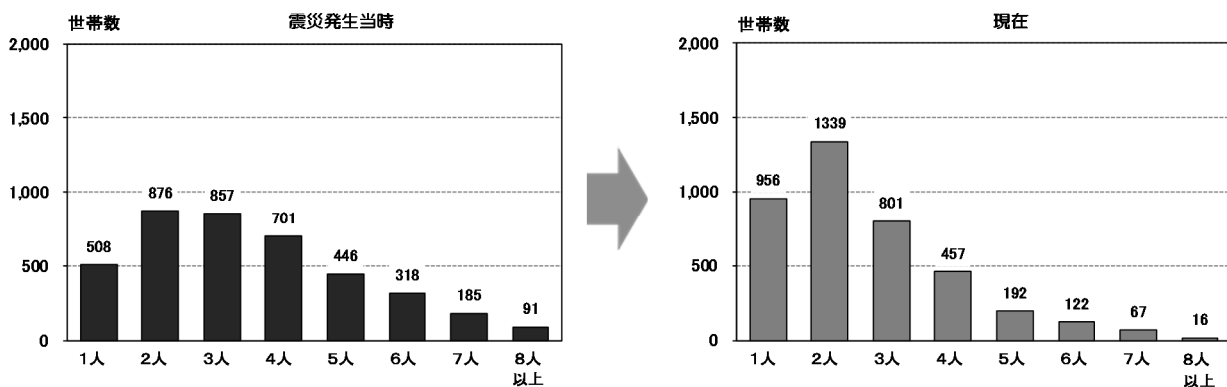


2-1-2 世帯人数（問4・問7）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が876世帯と最も多く、次いで「3人」が857世帯、「4人」が701世帯、「1人」が508世帯となっている。

現在の世帯人数は、「2人」が1,339世帯と最も多く、次いで「1人」が956世帯、「3人」が801世帯となっている。

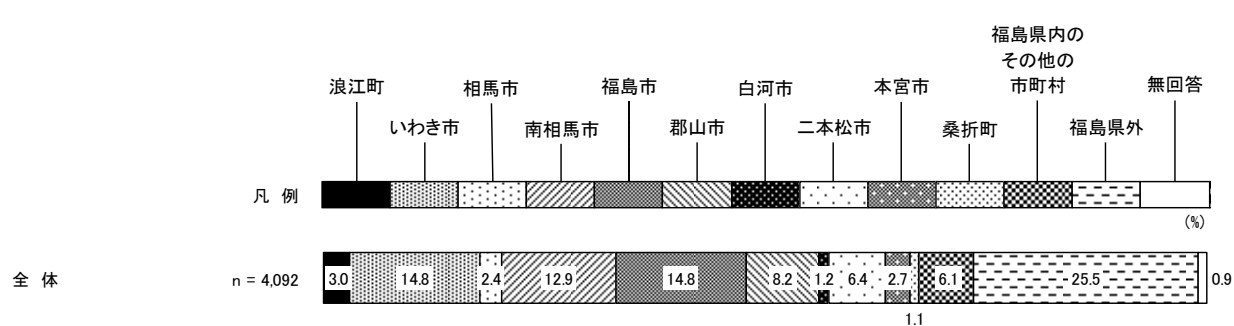
<図表2-1-2 世帯人数>



2-1-3 現在の居住自治体（問6）

現在の居住自治体については、「福島県外」が25.5%と最も高く、次いで「いわき市」、「福島市」がともに14.8%、「南相馬市」が12.9%となっている。

＜図表2-1-3 現在の居住自治体＞

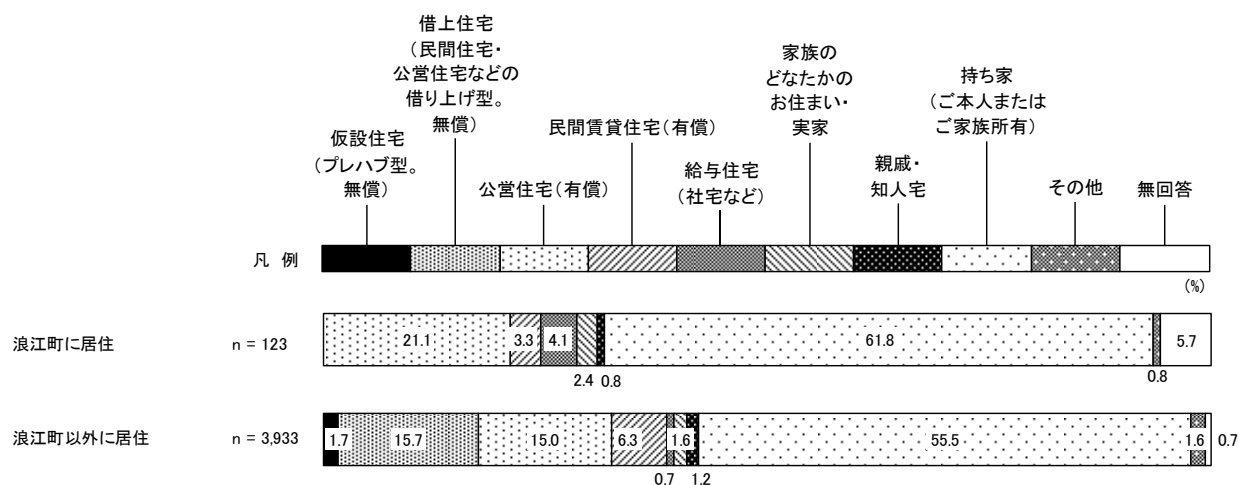


2-1-4 現在の住居形態（問8）

現在の住居形態について、浪江町に居住している人では、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が61.8%と最も高く、次いで「公営住宅（有償）」が21.1%となっている。

浪江町以外に居住している人では、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が55.5%と最も高く、次いで「借上住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」が15.7%、「公営住宅（有償）」が15.0%となっている。

＜図表2-1-4 現在の住居形態（現在の居住自治体別）＞



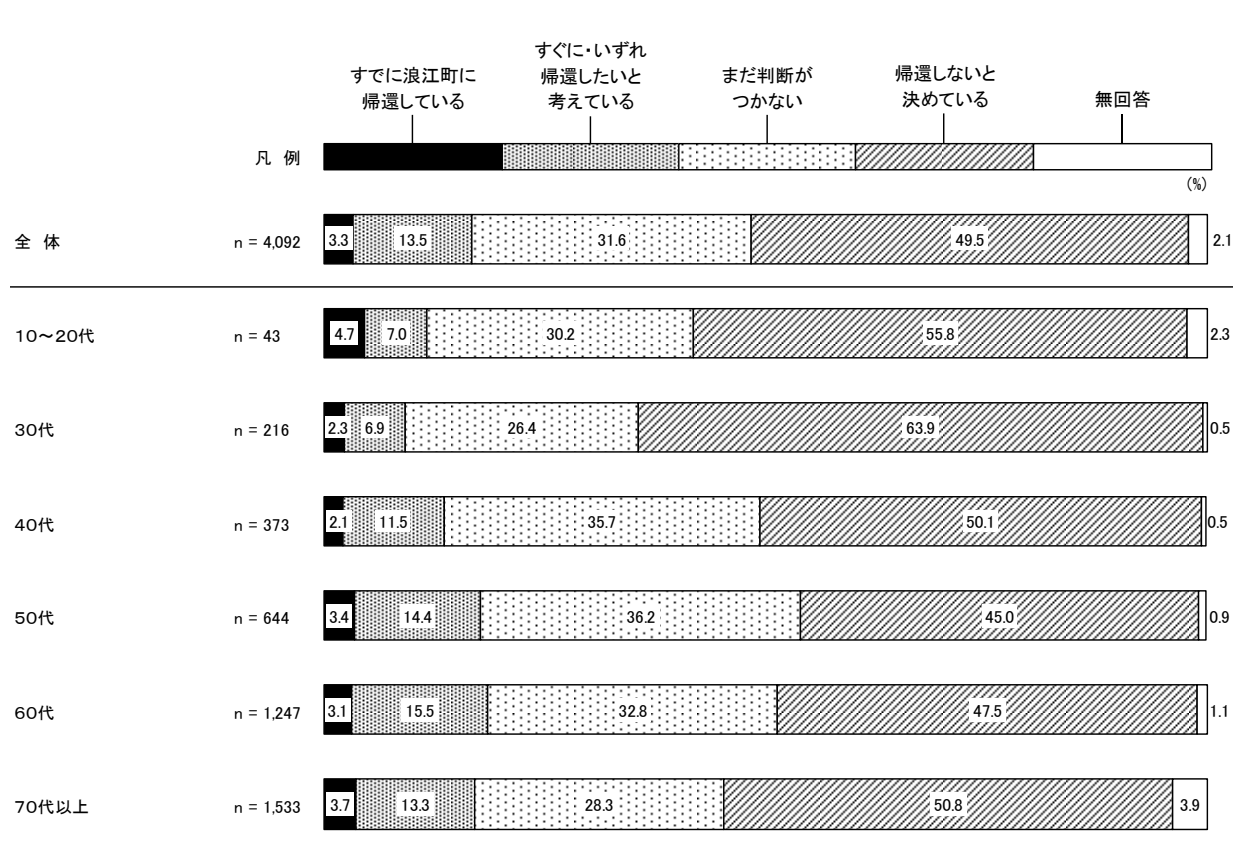
2-2 将来の意向

2-2-1 帰還の意向（問9）

浪江町への帰還については、「帰還しないと決めている」が49.5%と最も高く、次いで「まだ判断がつかない」が31.6%、「すぐに・いずれ帰還したいと考えている」が13.5%、「すでに浪江町に帰還している」が3.3%となっている。

回答者の年齢別にみると、「すでに浪江町に帰還している」は10～20代で4.7%と最も高く、50代以上で約3%～4%、30～40代で約2%となっている。「すぐに・いずれ帰還したいと考えている」は概ね年代が上がるにつれて割合が高くなり、40代以上では1割以上となっている。一方、「帰還しないと決めている」は若年層で高く、10～20代で55.8%、30代で63.9%となっている。

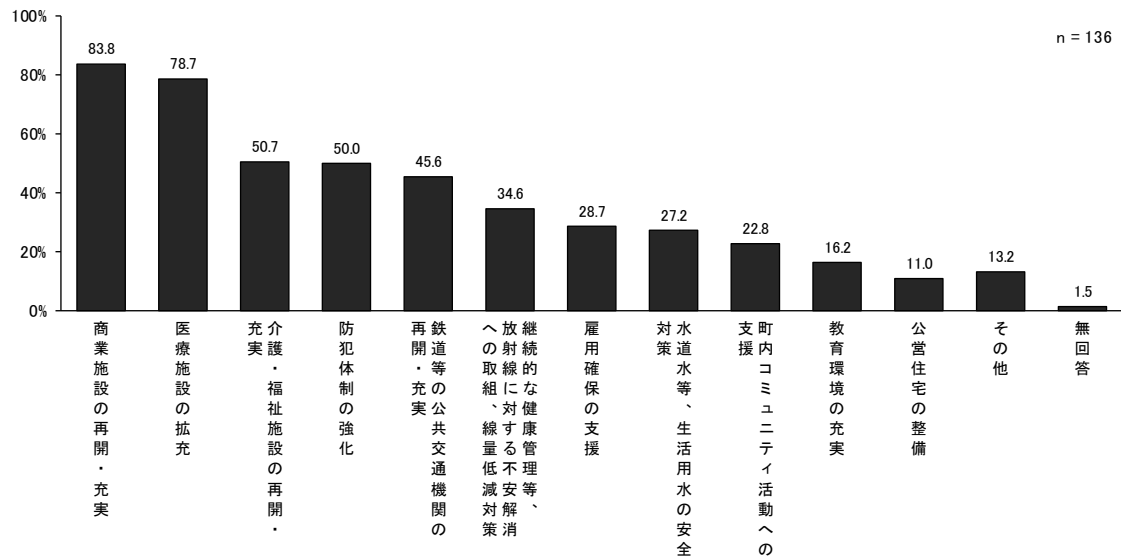
<図表2-2-1 帰還の意向（年齢別）>



2-2-2 今後の生活において必要だと感じていること（問9-1）

今後の生活において必要だと感じていることについては、「商業施設の再開・充実」（83.8%）、「医療施設の拡充」（78.7%）がともに約8割と高く、次いで「介護・福祉施設の再開・充実」が50.7%、「防犯体制の強化」が50.0%となっている。

＜図表2-2-2 今後の生活において必要だと感じていること＞

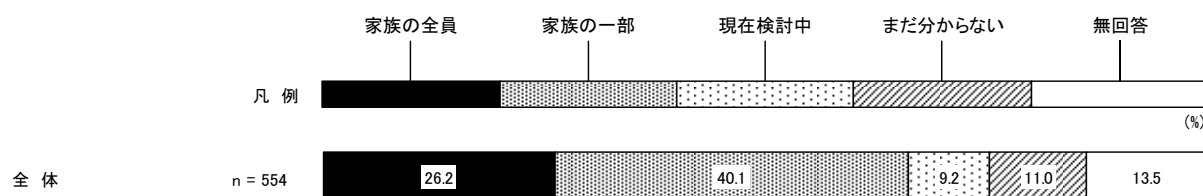


※問9で「すでに浪江町に帰還している」と回答した方のみ
 ※〇はいくつでも

2-2-3 帰還する場合の家族（問 11）

帰還する場合の家族については、「家族の一部」が40.1%と最も高く、次いで「家族の全員」が26.2%、「まだ分からない」が11.0%、「現在検討中」が9.2%となっている。

＜図表2-2-3 帰還する場合の家族＞

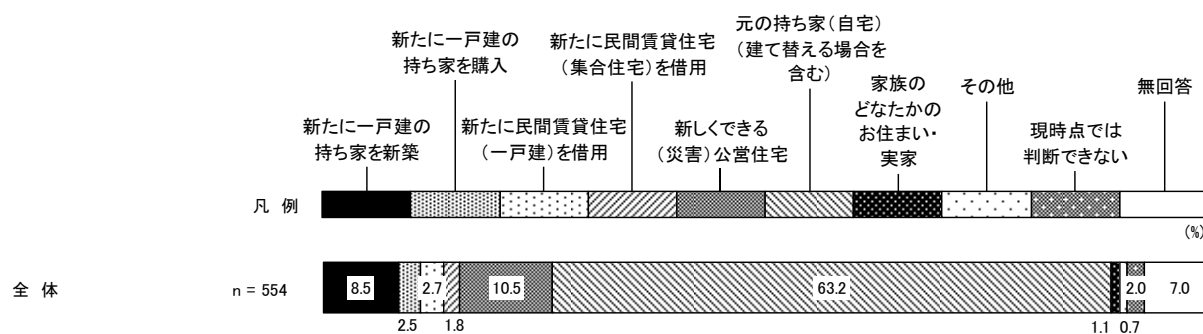


※問9で「すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方のみ

2-2-4 帰還した場合の住居形態（問 11-2）

帰還した場合の住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が63.2%と最も高く、次いで「新しくできる（災害）公営住宅」が10.5%、「新たに一戸建の持ち家を新築」が8.5%となっている。

＜図表2-2-4 帰還した場合の住居形態＞

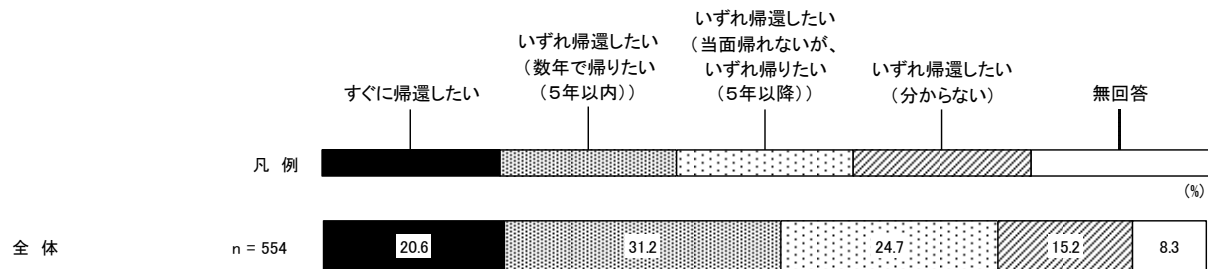


※問9で「すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方のみ

2-2-5 帰還の時期（問 11-5）

帰還の時期については、「いずれ帰還したい（数年で帰りたい（5年以内）」が31.2%と最も高く、次いで「いずれ帰還したい（当面帰れないが、いずれ帰りたい（5年以降）」が24.7%、「すぐに帰還したい」が20.6%となっている。

<図表2-2-5 帰還の時期>

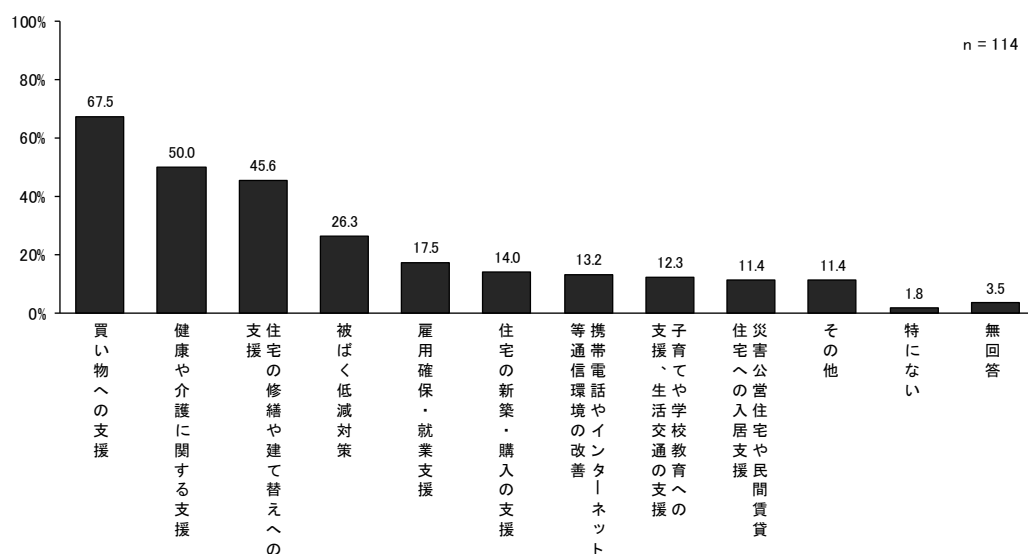


※問9で「すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方のみ

2-2-6 帰還する場合に不足していると感じる支援（問 11-6）

帰還する場合に不足していると感じる支援については、「買い物への支援」が67.5%と最も高く、次いで「健康や介護に関する支援」が50.0%、「住宅の修繕や建て替えへの支援」が45.6%となっている。

<図表2-2-6 帰還する場合に不足していると感じる支援>

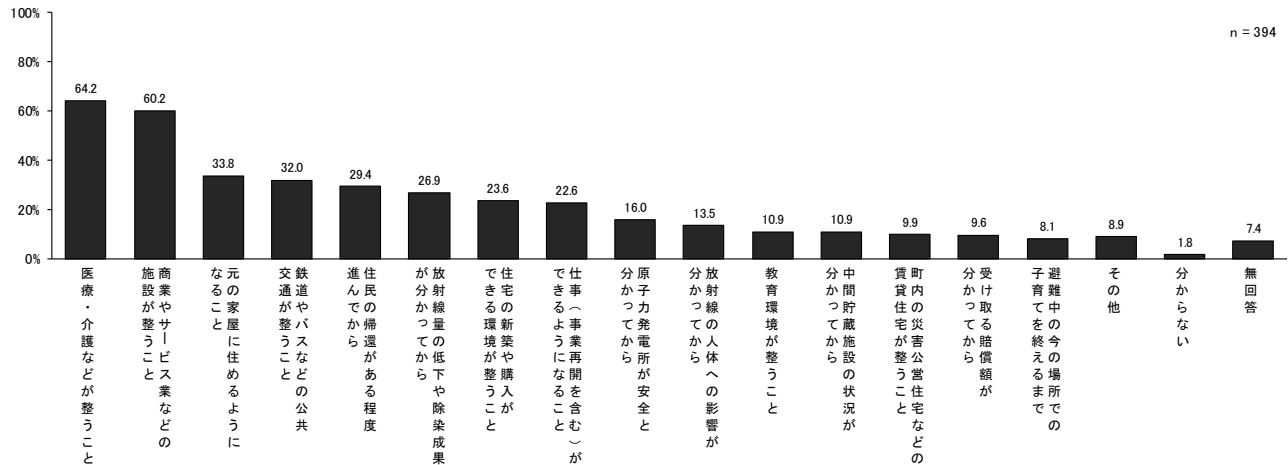


※問 11-5で「すぐに帰還したい」と回答した方のみ
※〇はいくつでも

2-2-7 帰還する場合の条件（問 11-8）

帰還する場合の条件については、「医療・介護などが整うこと」（64.2%）、「商業やサービス業などの施設が整うこと」（60.2%）がともに6割以上と高く、次いで「元の家屋に住めるようになること」が33.8%、「鉄道やバスなどの公共交通が整うこと」が32.0%となっている。

＜図表2-2-7 帰還する場合の条件＞



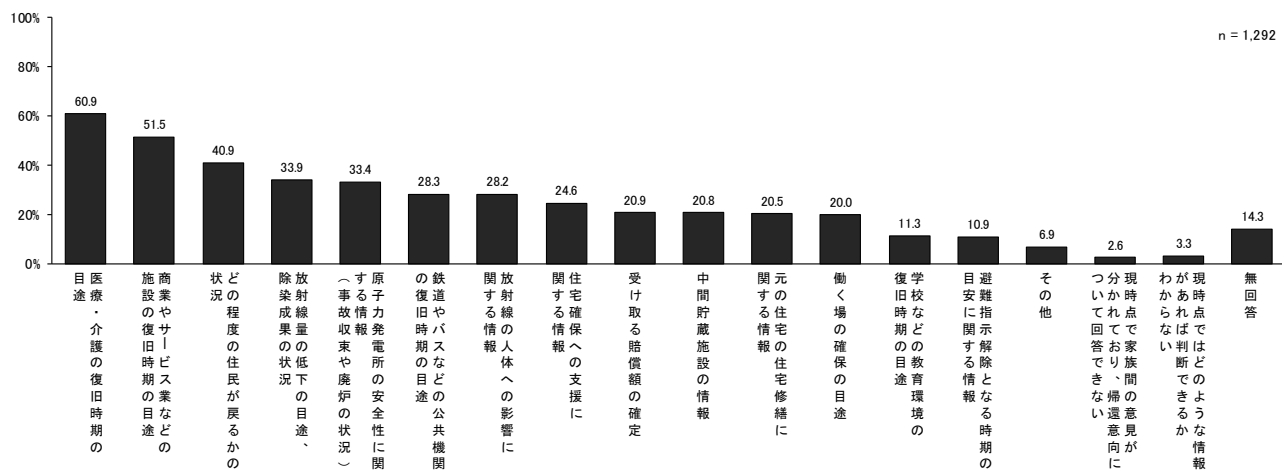
※問 11-5で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

※〇はいくつでも

2-2-8 帰還を判断するために必要なこと（問12）

帰還を判断するために必要なことについては、「医療・介護の復旧時期の目途」が60.9%と最も高く、次いで「商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途」が51.5%、「どの程度の住民が戻るかの状況」が40.9%となっている。

<図表2-2-8 帰還を判断するために必要なこと>



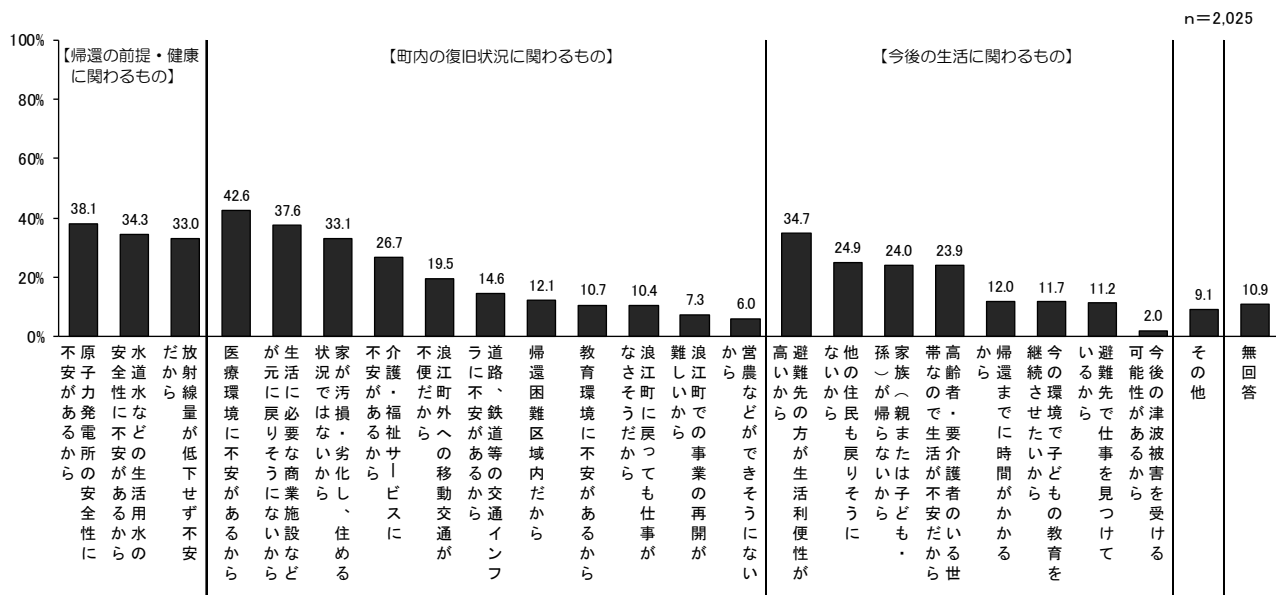
※問9で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

※〇はいくつでも

2-2-9 帰還しないと決めている理由（問 13）

帰還しないと決めている理由については、「医療環境に不安があるから」が42.6%と最も高く、次いで「原子力発電所の安全性に不安があるから」が38.1%、「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」が37.6%となっている。

＜図表2-2-9 帰還しないと決めている理由＞



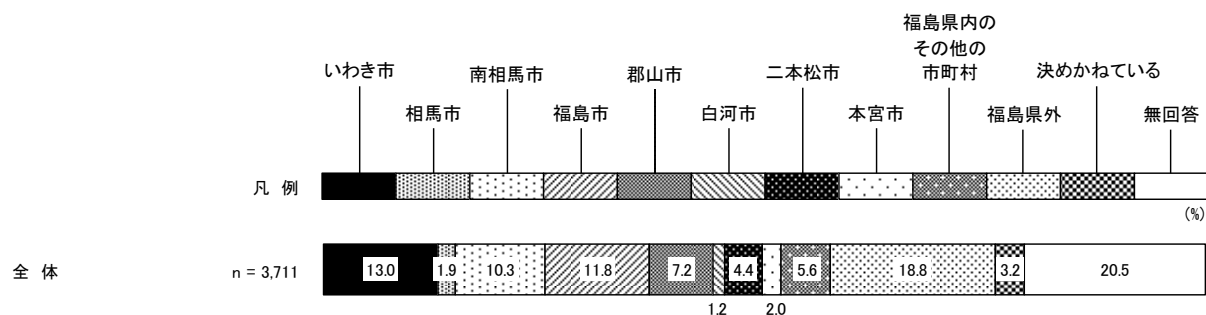
※問9で「帰還しないと決めている」と回答した方のみ

※〇はいくつでも

2-2-10 帰還しない場合または帰還するまでの間に居住を希望する自治体（問 14）

帰還しない場合または帰還するまでの間に居住を希望する自治体については、「福島県外」が 18.8%と最も高く、次いで「いわき市」が 13.0%、「福島市」が 11.8%となっている。

＜図表2-2-10 帰還しない場合または帰還するまでの間に居住を希望する自治体＞

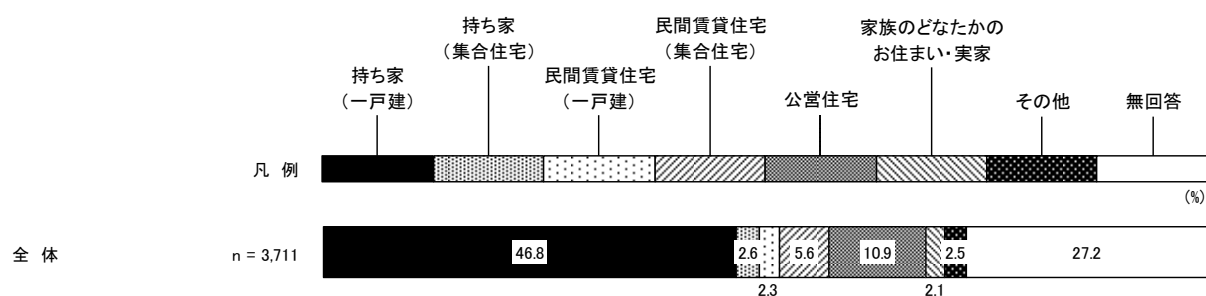


※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」、問 11-5で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

2-2-11 帰還しない場合または帰還するまでの間の今後の住居形態（問 14-1）

帰還しない場合または帰還するまでの間の今後の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が 46.8%と最も高く、次いで「公営住宅」が 10.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 5.6%となっている。

＜図表2-2-11 帰還しない場合または帰還するまでの間の今後の住居形態＞

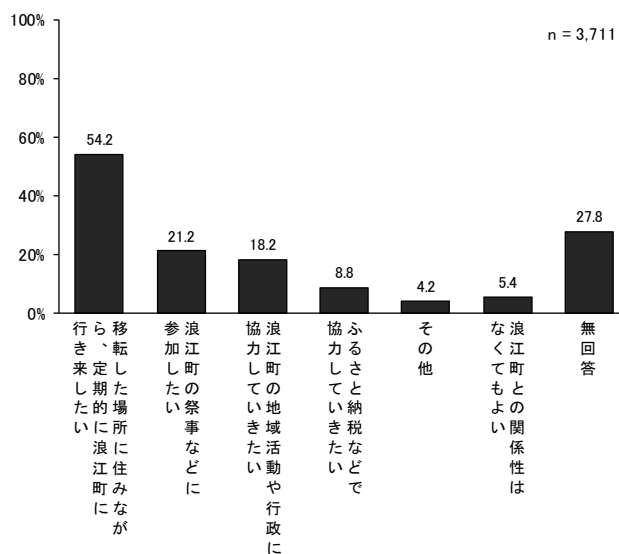


※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」、問 11-5で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

2-2-12 帰還しない場合または帰還するまでの間の浪江町との関係（問 14-2（1））

帰還しない場合または帰還するまでの間の浪江町との関係については、「移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい」が54.2%と最も高く、次いで「浪江町の祭事などに参加したい」が21.2%、「浪江町の地域活動や行政に協力していきたい」が18.2%となっている。

＜図表2-2-12 帰還しない場合または帰還するまでの間の浪江町との関係＞



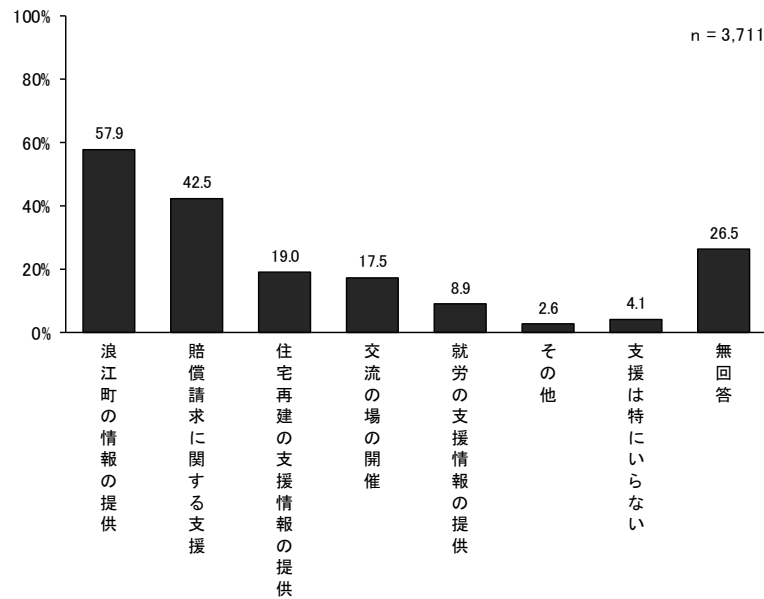
※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」、問11-5で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

※〇はいくつでも

2-2-13 帰還しない場合または帰還するまでの間に必要な支援（問 14-2（2））

帰還しない場合または帰還するまでの間に必要な支援については、「浪江町の情報の提供」が57.9%と最も高く、次いで「賠償請求に関する支援」が42.5%、「住宅再建の支援情報の提供」が19.0%となっている。

＜図表2-2-13 帰還しない場合または帰還するまでの間に必要な支援＞



※問9で「まだ判断がつかない」「帰還しないと決めている」、問11-5で「いずれ帰還したい」と回答した方のみ

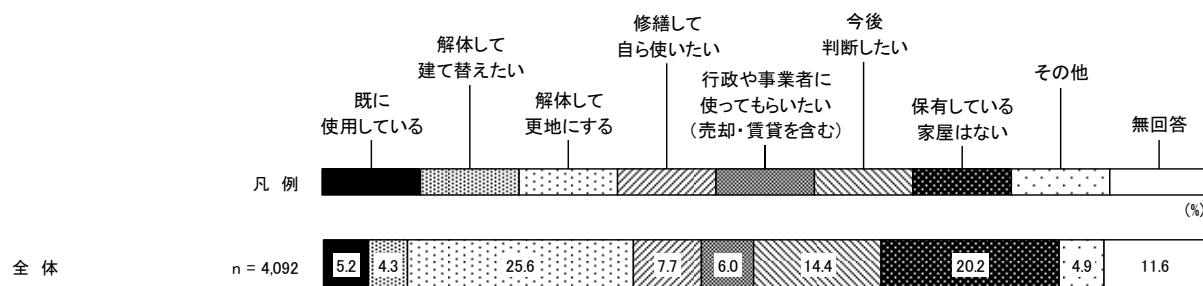
※〇はいくつでも

2-3 不動産の取り扱い

2-3-1 浪江町内に保有している家屋の利用意向（問 16）

浪江町内に保有している家屋の利用意向については、「解体して更地にする」が25.6%と最も高く、次いで「保有している家屋はない」が20.2%、「今後判断したい」が14.4%となっている。

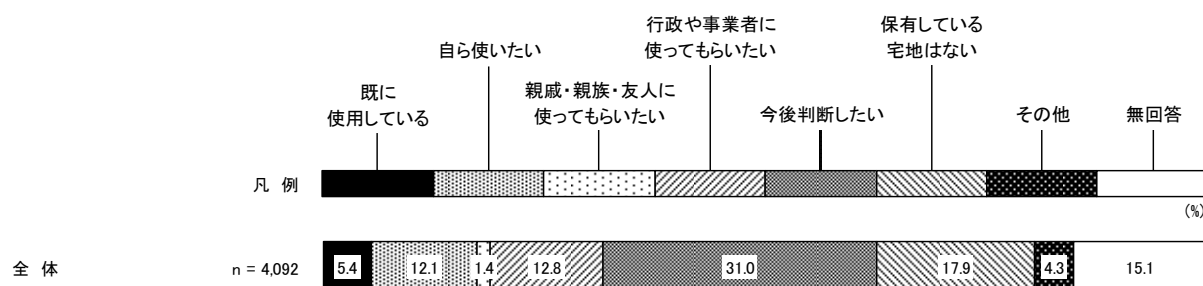
＜図表2-3-1 浪江町内に保有している家屋の利用意向＞



2-3-2 浪江町内に保有している宅地の利用意向（問 17）

浪江町内に保有している宅地の利用意向については、「今後判断したい」が31.0%と最も高く、次いで「保有している宅地はない」が17.9%、「行政や事業者に使ってほしい」が12.8%となっている。

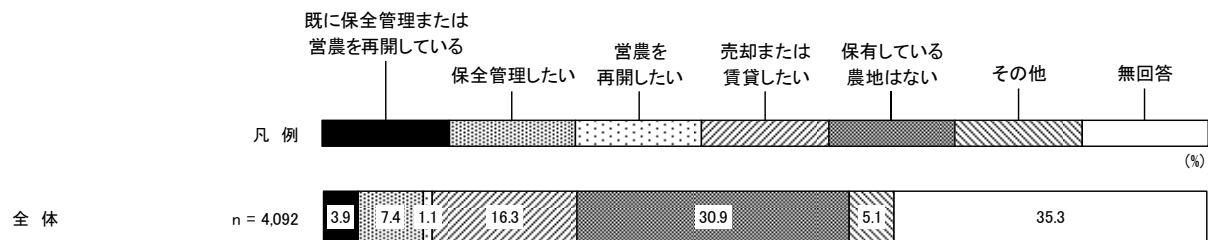
＜図表2-3-2 浪江町内に保有している宅地の利用意向＞



2-3-3 浪江町内に保有している農地の利用意向（問 18）

浪江町内に保有している農地の利用意向については、「保有している農地はない」が30.9%と最も高く、次いで「売却または賃貸したい」が16.3%、「保全管理したい」が7.4%となっている。

＜図表2-3-3 浪江町内に保有している農地の利用意向＞



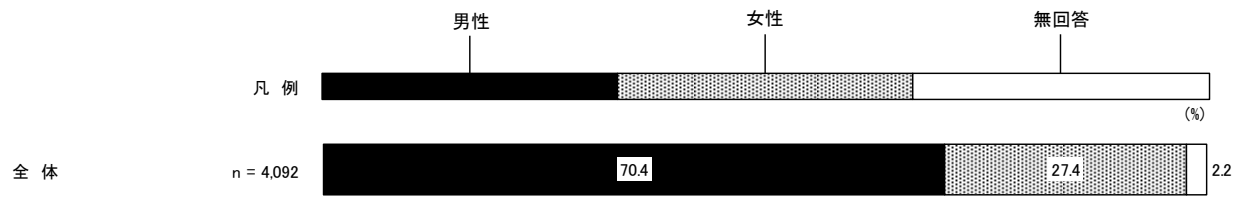
Ⅲ 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。
(1) 性別 (○は1つ)

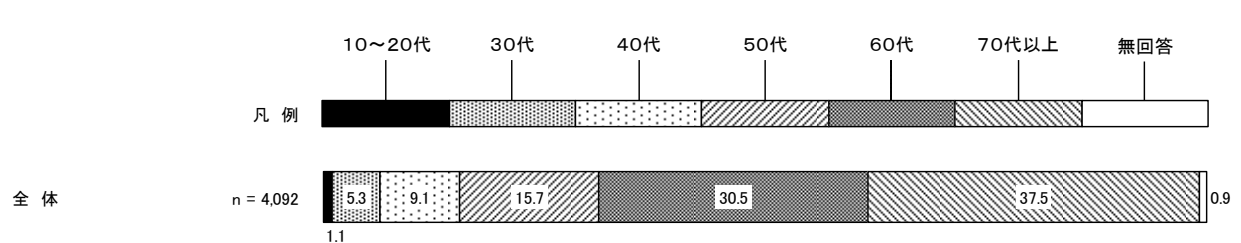
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。
(2) 年齢 (○は1つ)

<図表3-1-2 年齢>

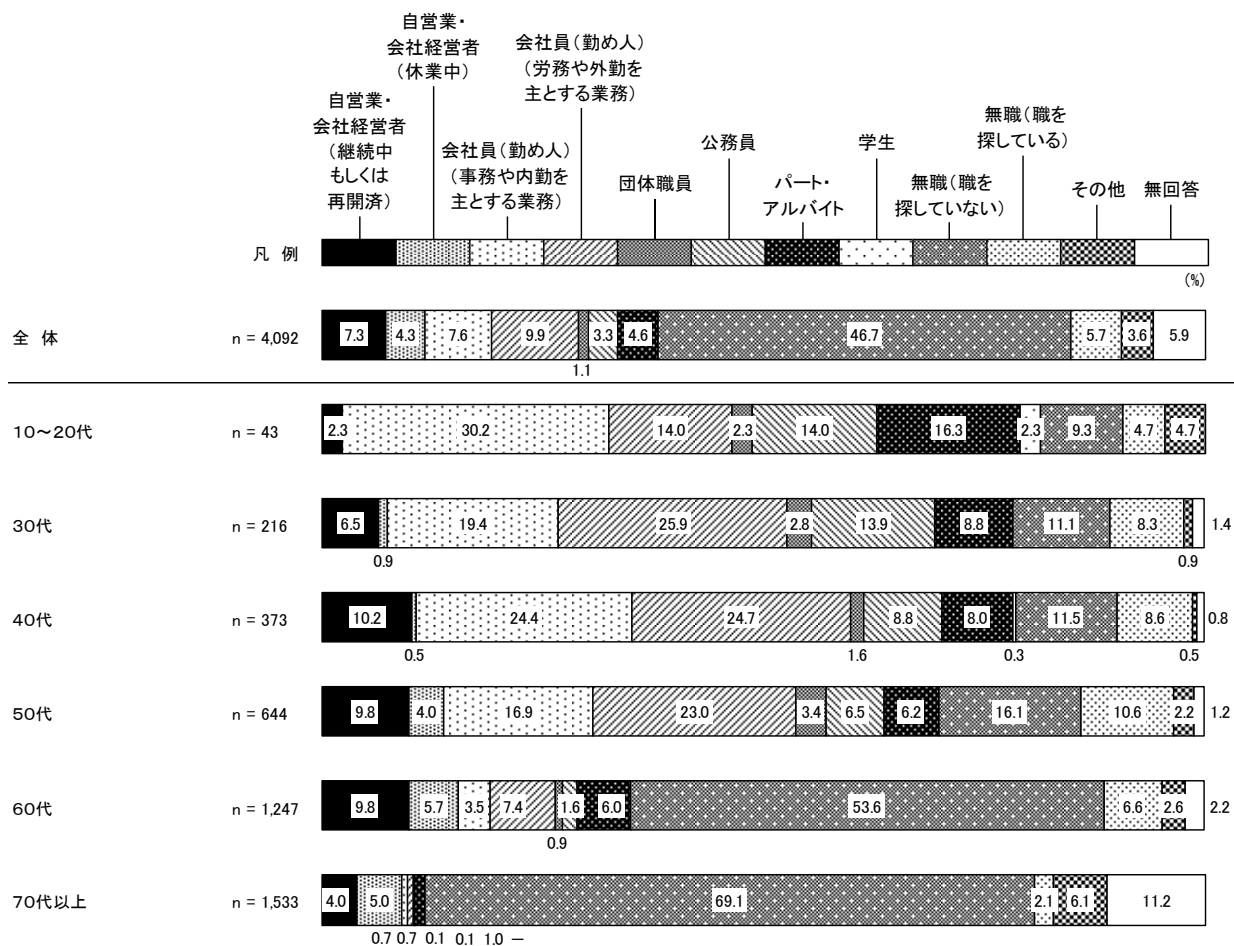


3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種と今後の継続意向も教えてください。
 なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



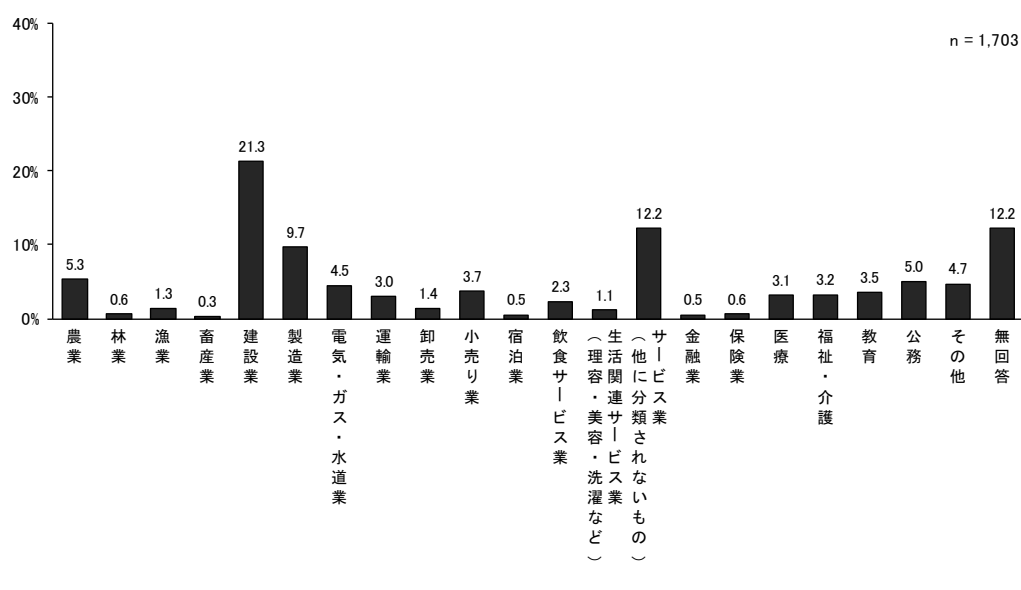
3-1-4 現在の職業（業種）

【問2（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種と今後の継続意向も教えてください。
なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

（2） 業種（○は1つ）

<図表3-1-4-1 現在の職業（業種）>



<図表3-1-4-2 現在の職業（業種）（年齢別）>

		農業	林業	漁業	畜産業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	サービス業（他に分類されないもの）	金融業	保険業	医療	福祉・介護	教育	公務	その他	無回答
	n																						
全 体	1,703	5.3	0.6	1.3	0.3	21.3	9.7	4.5	3.0	1.4	3.7	0.5	2.3	1.1	12.2	0.5	0.6	3.1	3.2	3.5	5.0	4.7	12.2
10～20代	36	-	-	-	-	5.6	19.4	2.8	-	-	-	-	2.8	2.8	16.7	-	-	5.6	13.9	8.3	2.8	2.8	16.7
30代	171	0.6	1.2	0.6	-	14.6	12.3	7.0	5.3	0.6	1.8	0.6	2.9	1.2	9.9	1.2	-	5.8	6.4	7.6	9.4	1.8	9.4
40代	294	1.4	-	1.0	-	23.1	13.9	6.8	2.4	0.7	3.1	1.0	2.0	0.3	10.2	0.7	0.3	3.7	3.7	5.1	8.5	3.4	8.5
50代	464	3.2	0.6	1.1	0.4	17.7	13.4	6.5	3.2	1.9	2.2	0.2	1.7	1.3	15.9	0.6	0.9	2.6	3.7	3.9	5.8	2.8	10.3
60代	468	8.1	-	1.9	0.6	30.6	4.3	2.8	3.6	1.5	5.1	0.2	3.4	0.6	12.0	0.4	1.1	3.0	2.1	1.5	3.2	3.4	10.5
70代以上	269	11.9	1.9	1.5	-	16.0	5.6	-	1.1	1.5	6.3	0.7	1.5	2.2	9.3	-	-	1.5	0.4	0.7	0.7	13.8	23.4

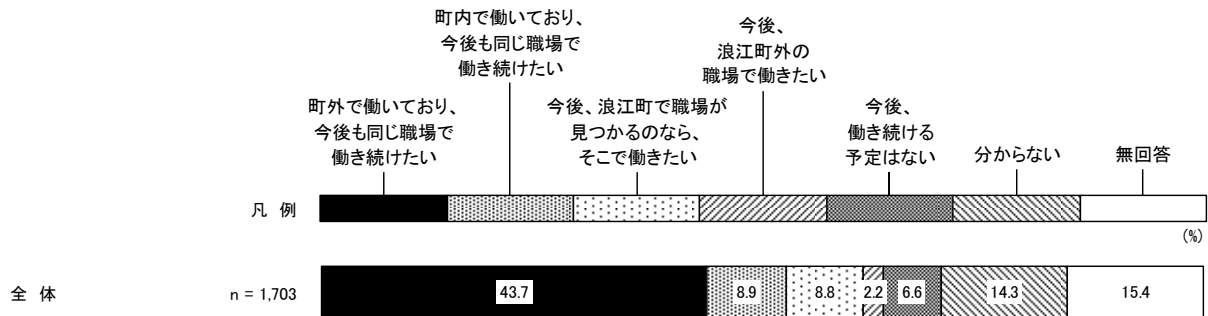
3-1-5 今後の継続意向

【問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種と今後の継続意向も教えてください。
 なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(3) 今後の継続 (〇は1つ)

＜図表3-1-5 今後の継続意向＞



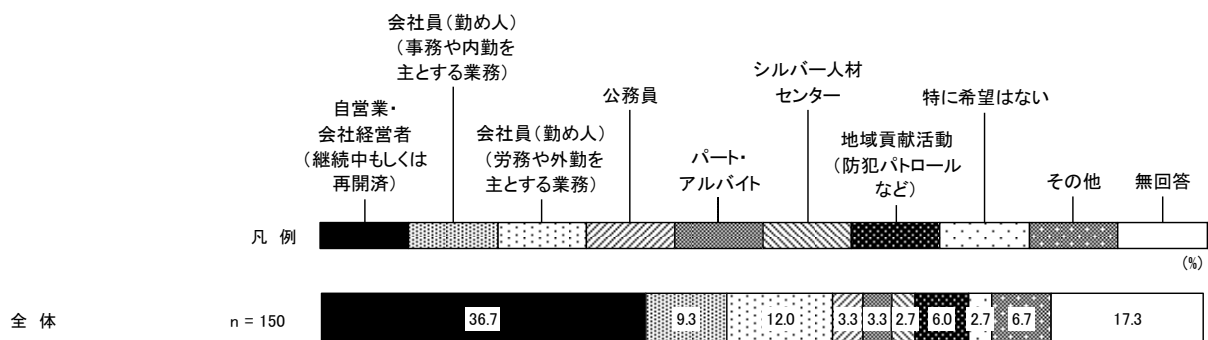
3-1-6 今後町内で働く場合に希望する職業（就業形態）

【問2(3)で「3.今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問2 今後希望する職業・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている職業・業種を教えてください。

(4) 職業（就業形態）(〇は1つ)

＜図表3-1-6 今後町内で働く場合に希望する職業（就業形態）＞

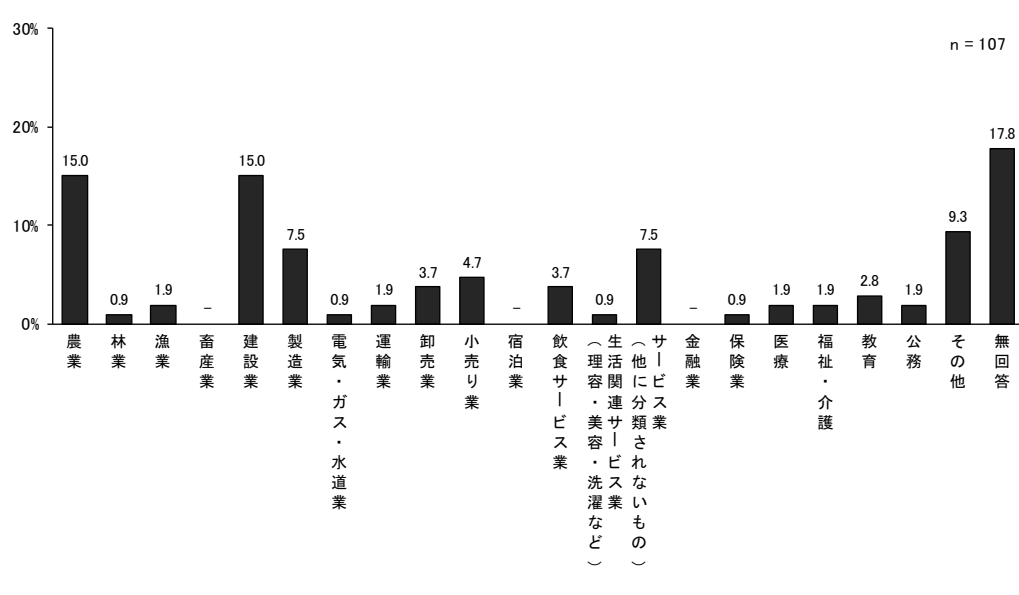


〔その他の内訳〕
 団体職員 0.7%
 その他 6.0%

3-1-7 今後町内で働く場合に希望する職業（業種）

【問2(4)で「1」から「6」、「10」と回答した方にうかがいます。】
 問2 今後希望する職業・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている職業・業種を教えてください。
 (5) 業種（〇は1つ）

＜図表3-1-7 今後町内で働く場合に希望する職業（業種）＞

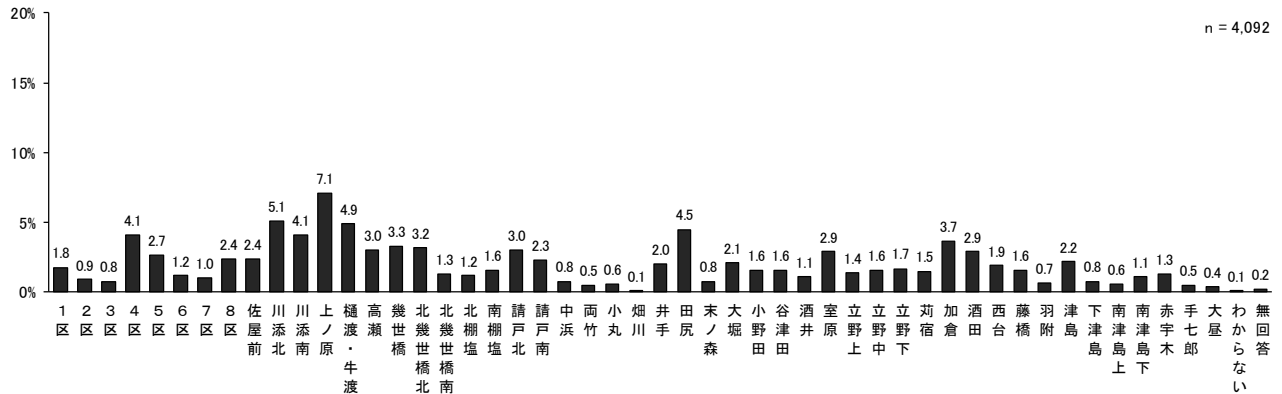


3-2 東日本大震災発生時および震災前の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

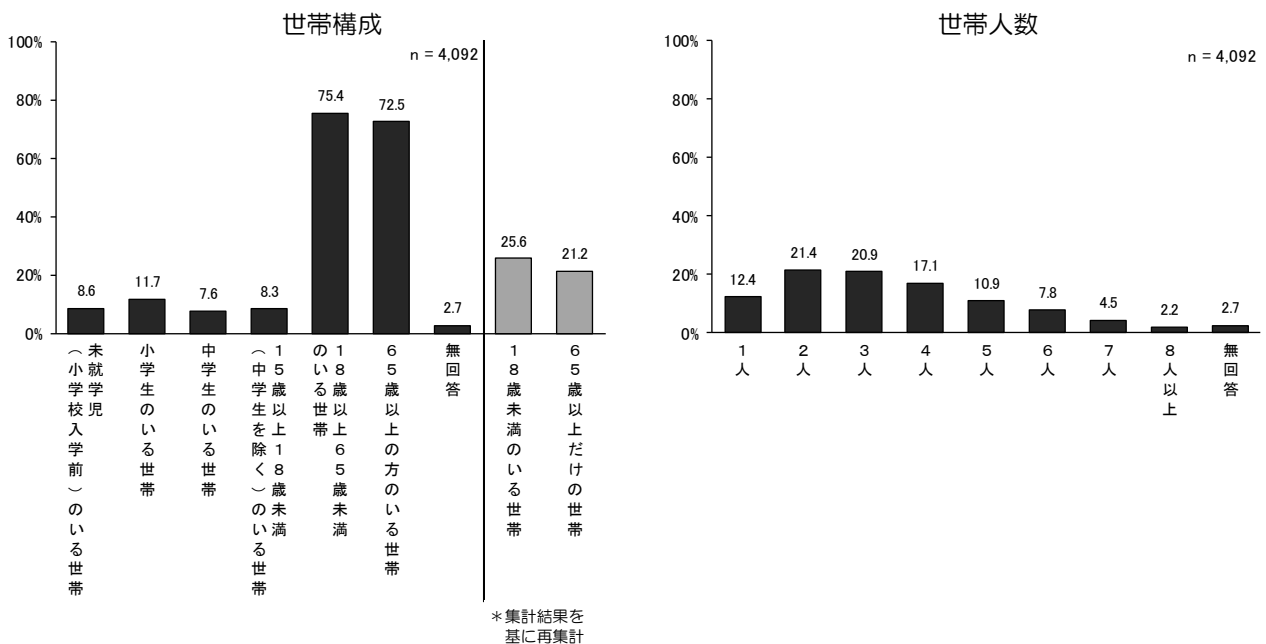
＜図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区＞



3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

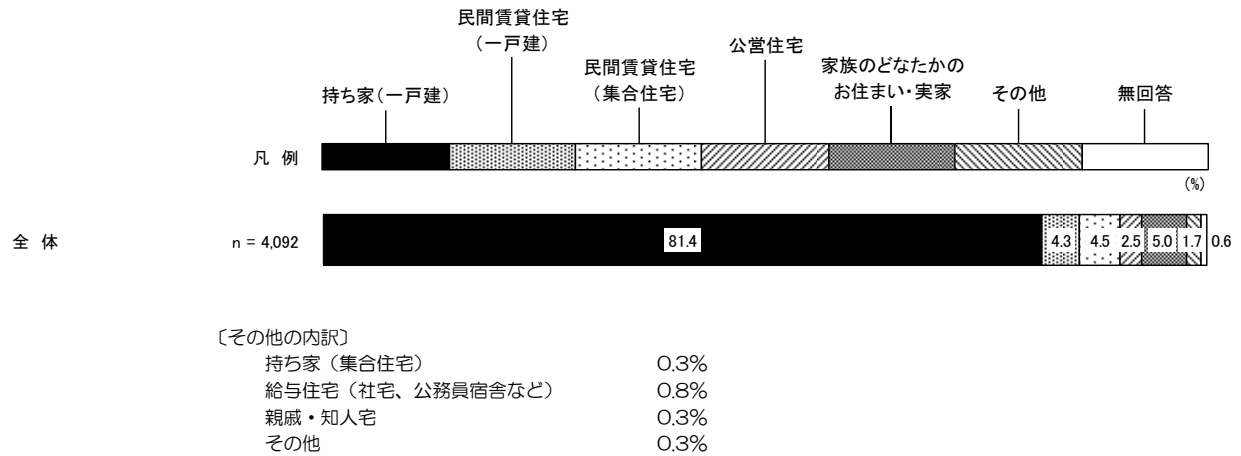
＜図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成・人数＞



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(〇は1つ)

＜図表3-2-3 震災発生当時の住居形態＞

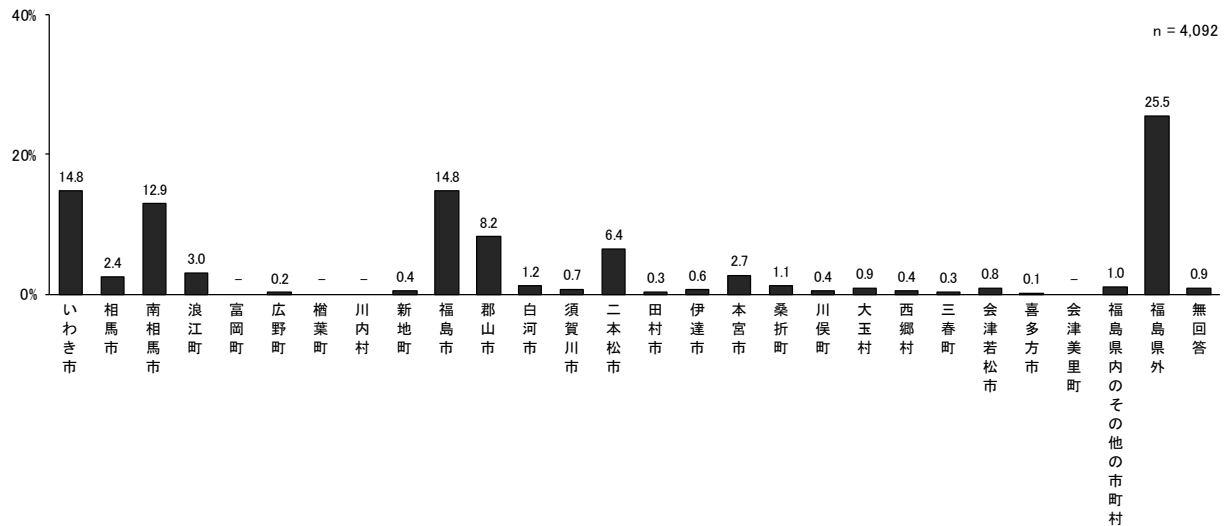


3-3 現在の状況

3-3-1 現在の居住自治体

問6 あなたが現在住まわれている市町村を教えてください。(〇は1つ)

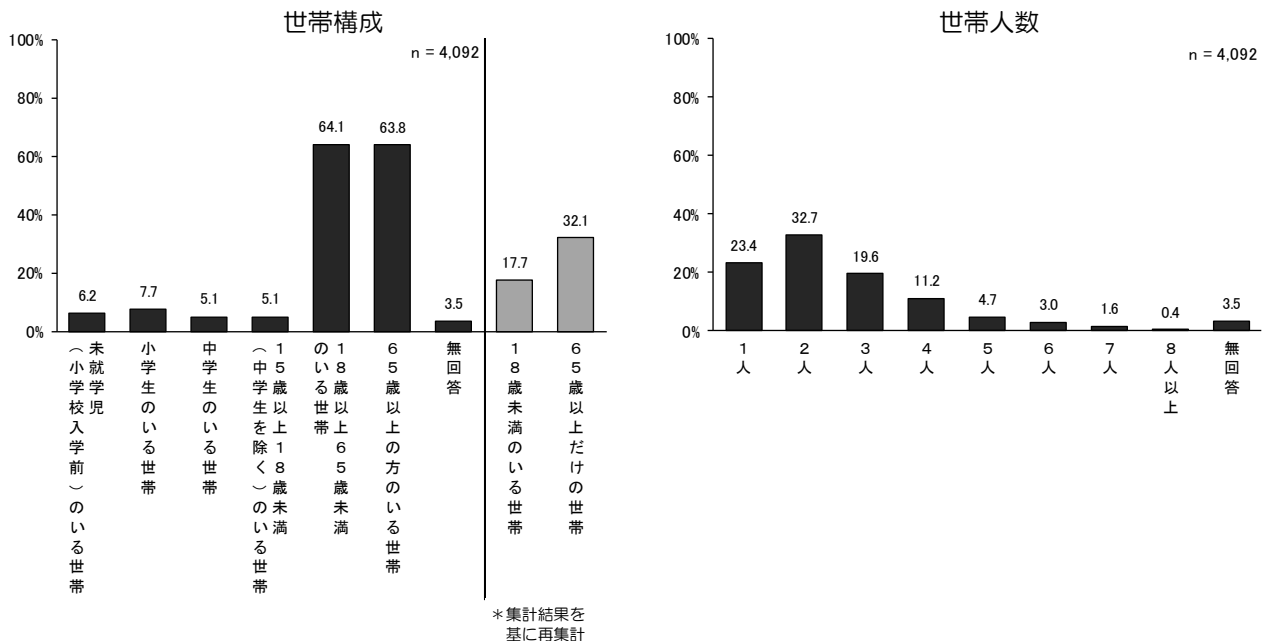
＜図表3-3-1 現在の居住自治体＞



3-3-2 現在の世帯構成・人数

問7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

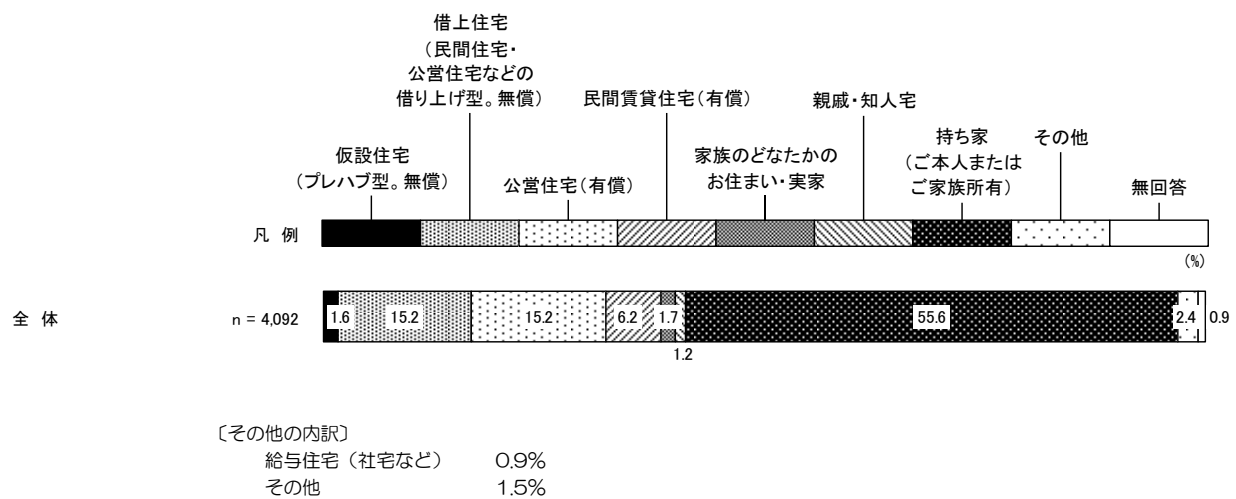
＜図表3-3-2 現在の世帯構成・人数＞



3-3-3 現在の住居形態

問8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(〇は1つ)

＜図表3-3-3 現在の住居形態＞



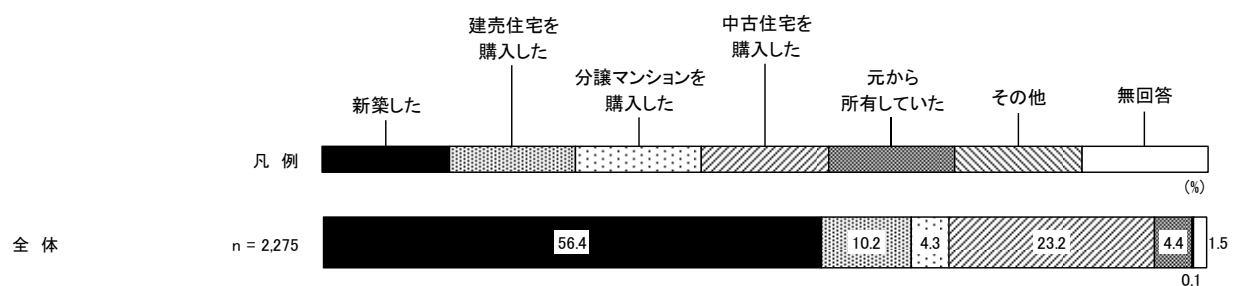
3-3-4 持ち家の取得形態

【問8で「8.持ち家 (ご本人またはご家族所有)」と回答した方にうかがいます。】

問8-1 現在お住まいになっている持ち家についての状況をお答えください。

① 持ち家の取得形態 (〇は1つ)

＜図表3-3-4 持ち家の取得形態＞



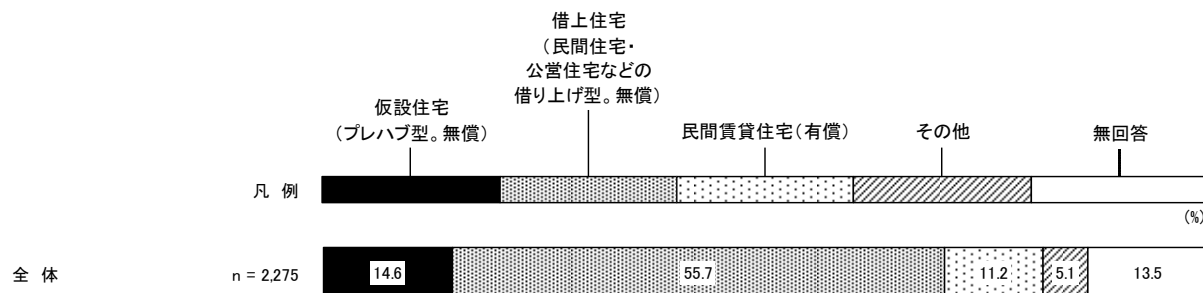
3-3-5 持ち家取得前に住んでいた住宅の住居形態

【問 8 で「8.持ち家（ご本人またはご家族所有）」と回答した方にうかがいます。】

問 8-1 現在お住まいになっている持ち家についての状況をお答えください。

② 持ち家取得前に住んでいた住宅の住居形態（○は1つ）

<図表 3-3-5 持ち家取得前に住んでいた住宅の住居形態>



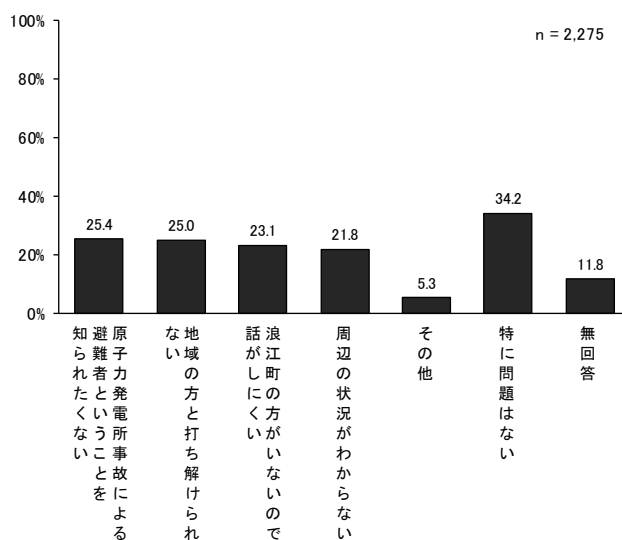
3-3-6 持ち家に入居後の問題点

【問 8 で「8.持ち家（ご本人またはご家族所有）」と回答した方にうかがいます。】

問 8-1 現在お住まいになっている持ち家についての状況をお答えください。

③ 持ち家に入居後の問題など（○はいくつでも）

<図表 3-3-6 持ち家に入居後の問題点>

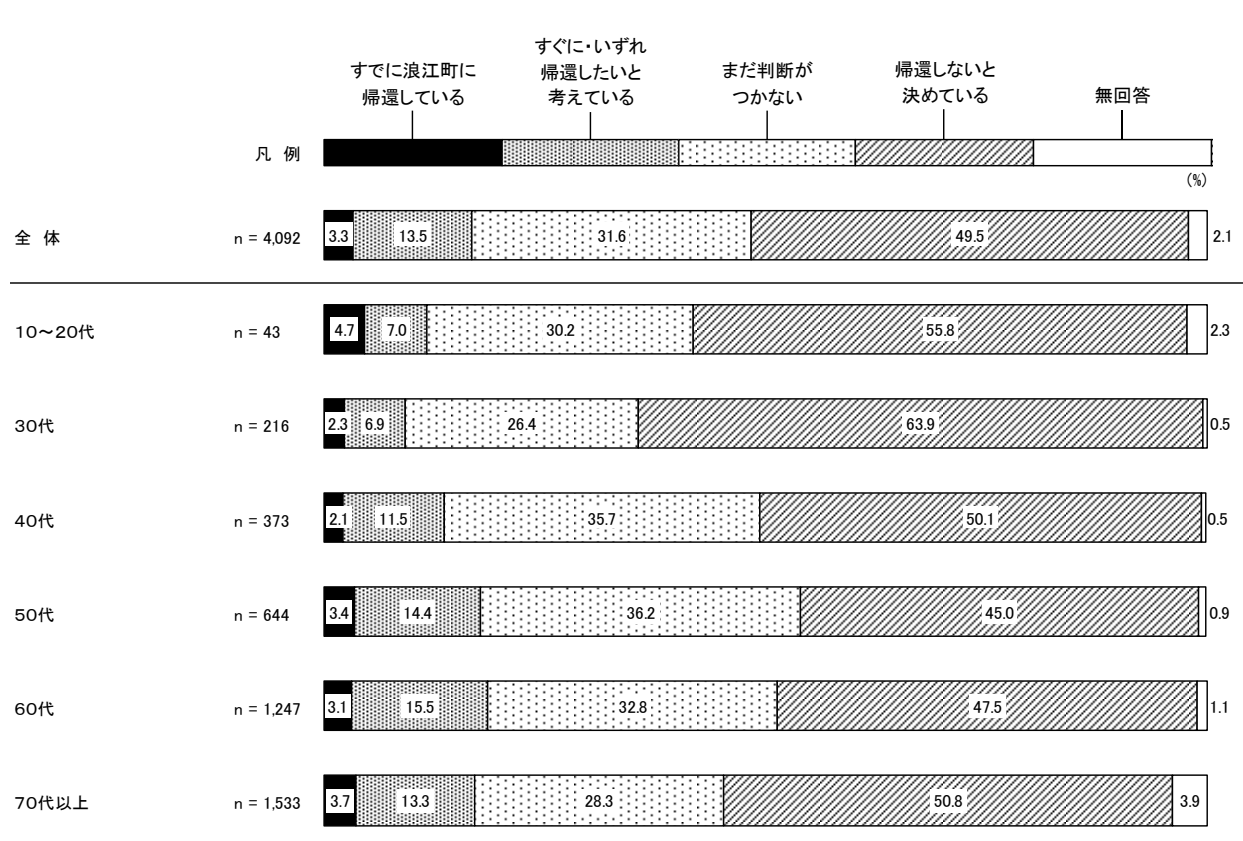


3-4 将来の意向

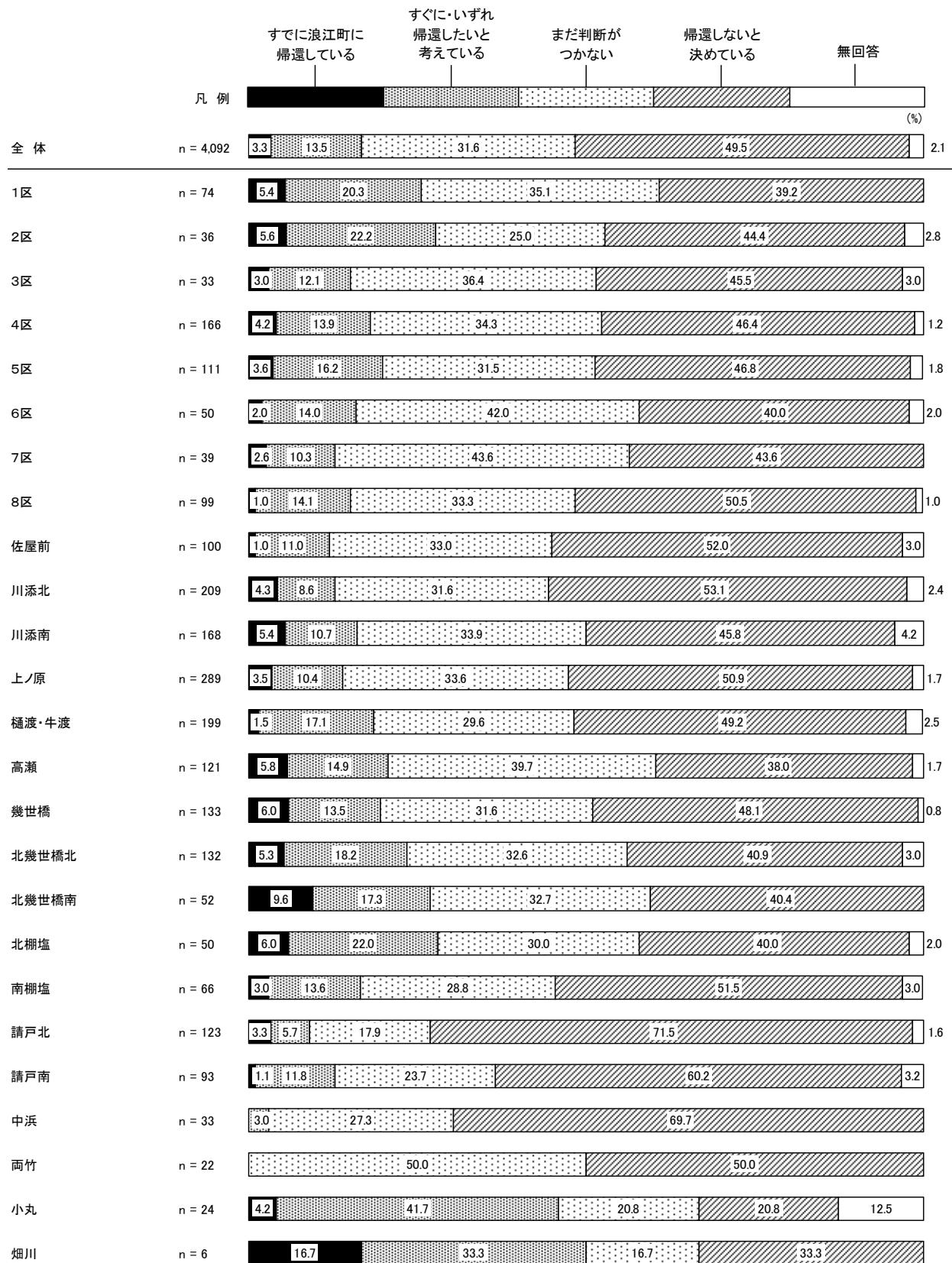
3-4-1 浪江町への帰還意向

問9 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。（〇は1つ）

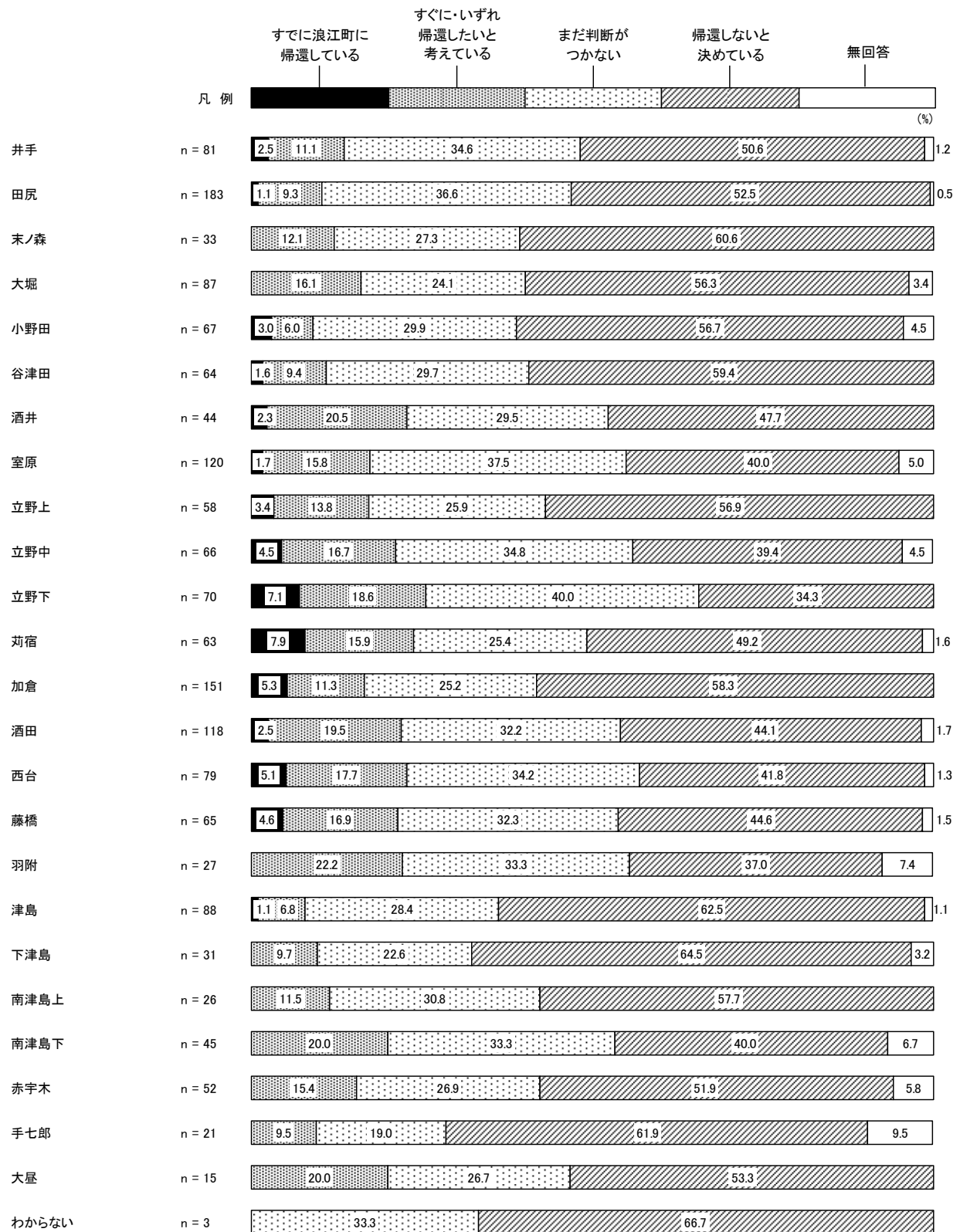
＜図表3-4-1-1 浪江町への帰還意向（年齢別）＞



＜図表３－４－１－２ 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）＞



＜図表3-4-1-2 浪江町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き＞

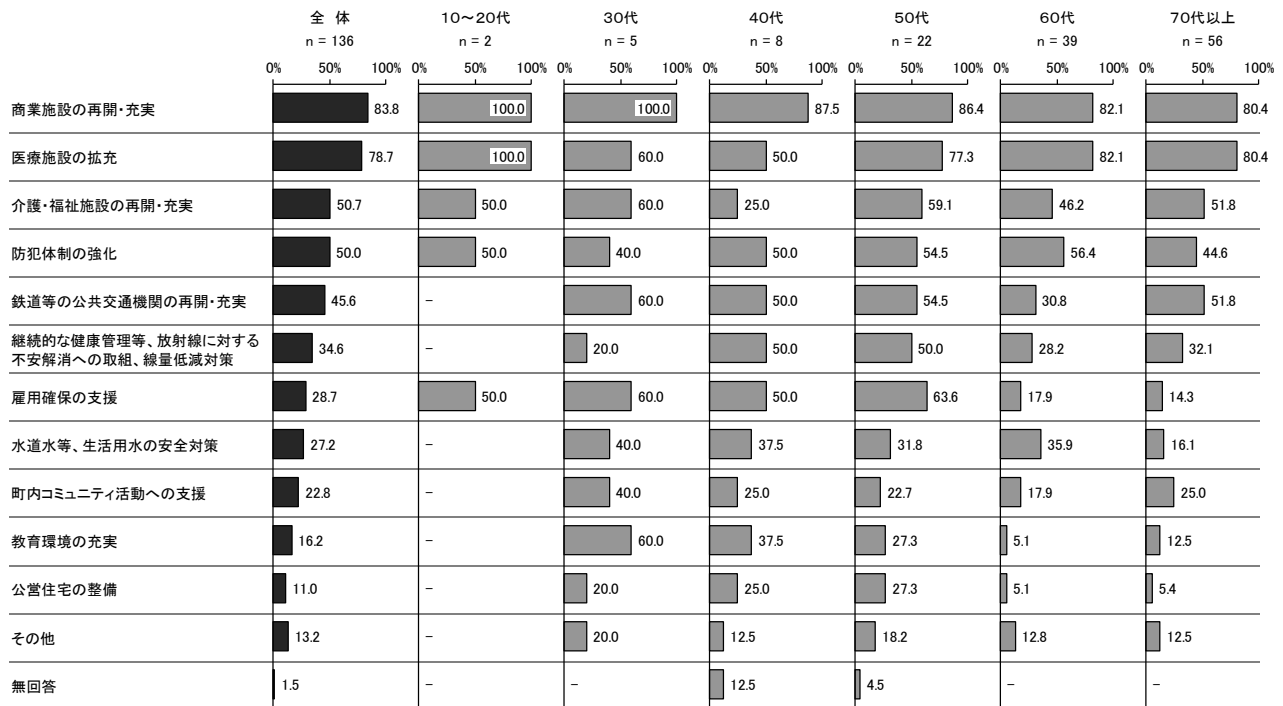


3-4-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること

【問9で「1.すでに浪江町に帰還している」と回答した方にうかがいます。】

問9-1 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。
(〇はいくつでも)

<図表3-4-2 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていること（年齢別）>



3-4-3 浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な考え

問9-2 問9-1で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

＜浪江町内での今後の生活において必要だと感じていることの具体的な考えの上位項目の主な意見＞

〔商業施設の再開・充実〕

- ・大型販売店があればとてもありがたいですし、また深夜帯（10時ぐらいまで）開いている店があれば…。（30代）
- ・商業施設誘致等は、民間の力を借りてはどうか？お互いに足元ばかりを見ていたのでは進まないところもあるのではないかな。（50代）
- ・現在浪江町に住んでいて一番の不便は食糧事情です。特に生鮮食料に不足を感じています。生活するには、肉魚野菜は絶対に必要なものです。小さな店でも良いので町役場で人を雇ってでも出店してほしい。急いで。（60代）

〔医療施設の拡充〕

- ・内科外科だけでなく特に歯科も必要。整形外科や眼科もあると助かる。（50代）
- ・診療内容を充実させ、地元で治療が出来る様にしてほしい。歯科も必要。（60代）
- ・帰還者に高齢者が多いのでその方達に対応した眼科歯科整形等の医療施設。（70代以上）

〔介護・福祉施設の再開・充実〕

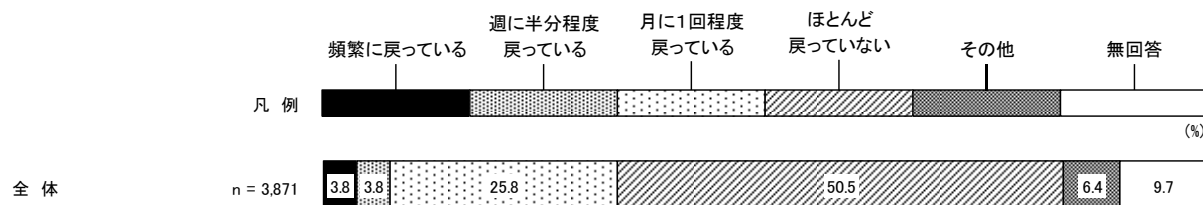
- ・福祉施設の再開をして頂いたら仕事が出来そうです。（50代）
- ・介護予防の事業を新しいやり方で行う。体操がメインの考えではいけない。（50代）
- ・老人ホームかグループホームの建設。（70代以上）

3-4-4 回答者が浪江町に定期的に戻る頻度

【問9で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問10 あなたは現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。「1」から「5」の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

＜図表3-4-4 回答者が浪江町に定期的に戻る頻度＞

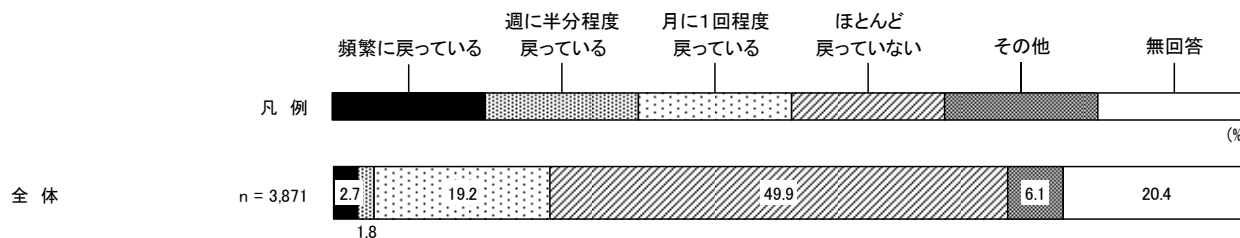


3-4-5 回答者の家族が浪江町に定期的に戻る頻度

【問9で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問10-1 あなたのご家族は現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。「1」から「6」の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

＜図表3-4-5 回答者の家族が浪江町に定期的に戻る頻度＞



〔その他の内訳〕

家族の一部はすでに帰還している 0.9%

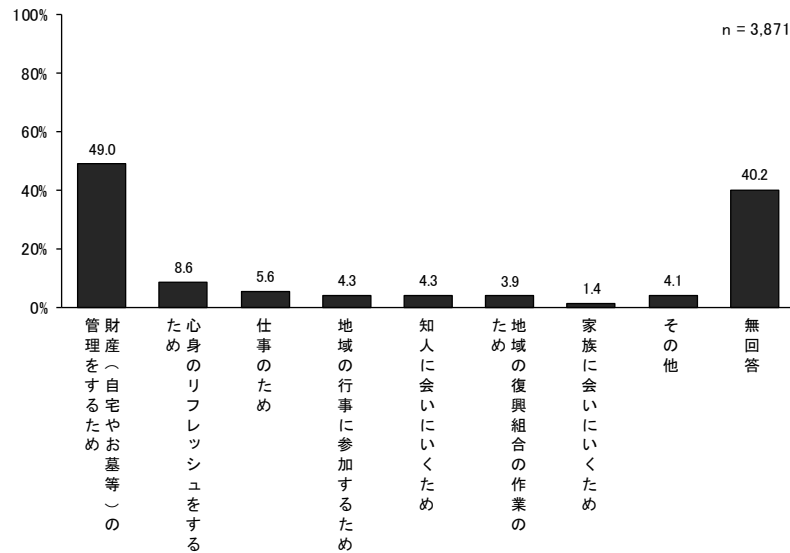
その他 5.2%

3-4-6 回答者もしくは回答者の家族が浪江町に定期的に戻る理由

【問9で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問10-2 あなたもしくはあなたのご家族が浪江町に定期的に戻る理由は何ですか。（〇はいくつでも）

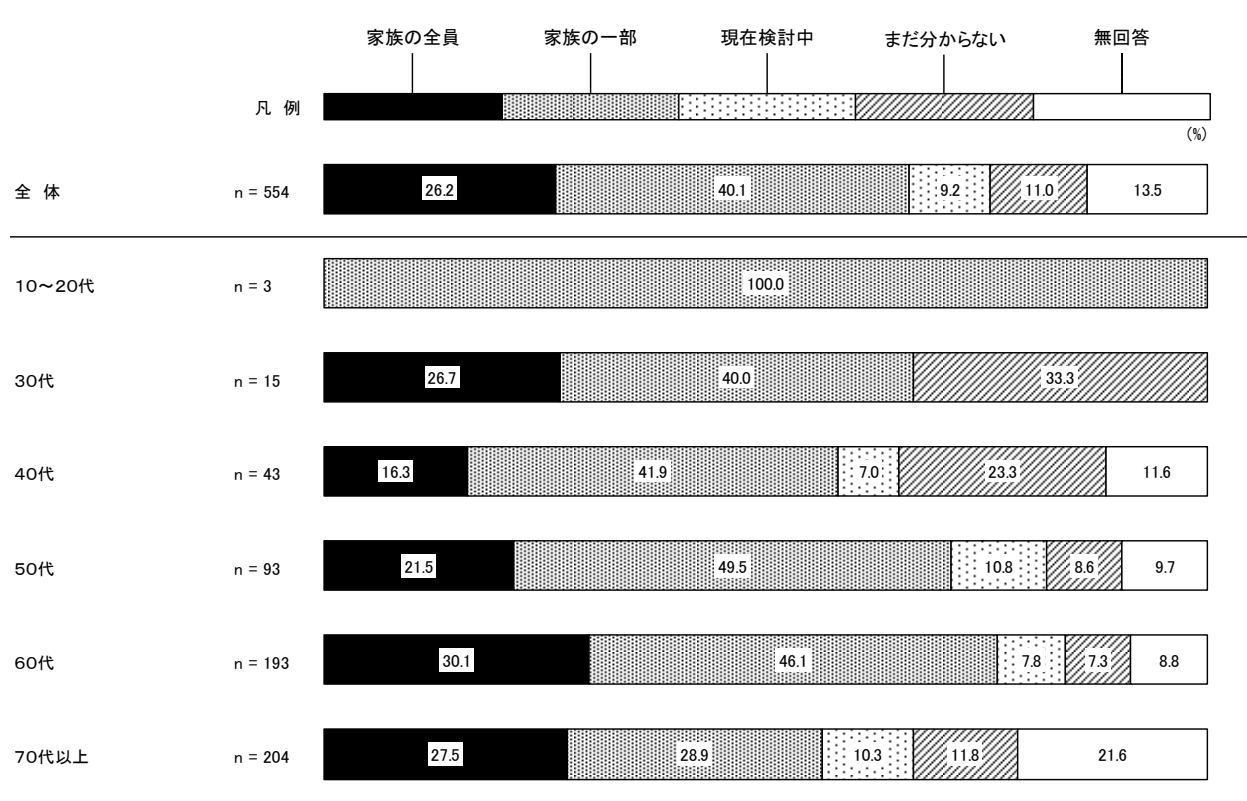
＜図表3-4-6 回答者もしくは回答者の家族が浪江町に定期的に戻る理由＞



3-4-7 浪江町へ帰還する場合の家族

【問9で「2.すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方にうかがいます。】
 問11 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(〇は1つ)

＜図表3-4-7 浪江町へ帰還する場合の家族（年齢別）＞

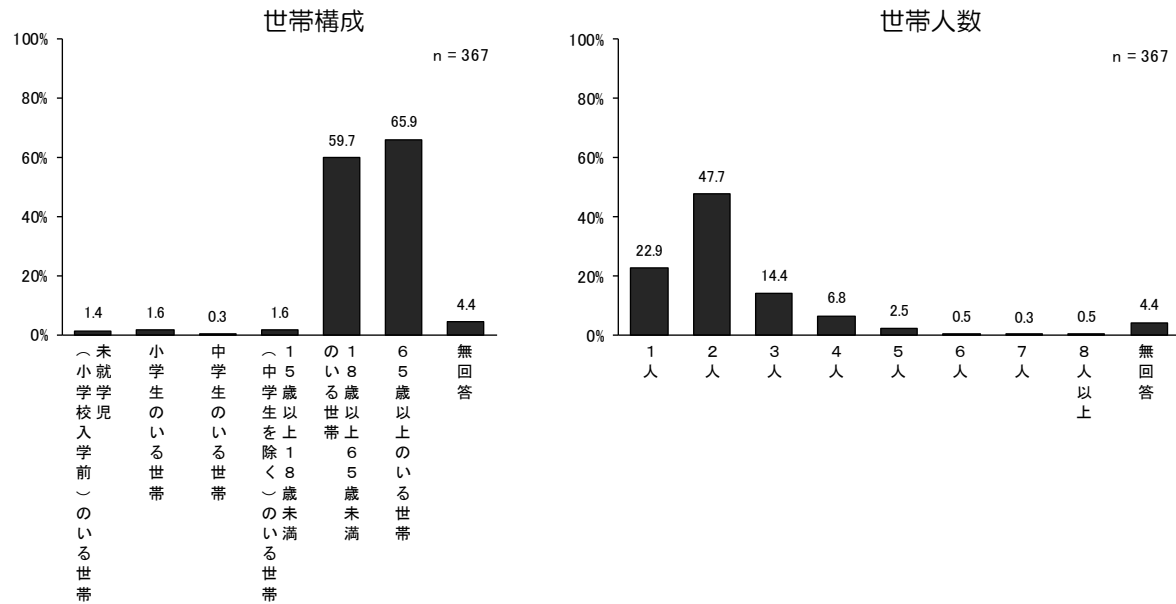


3-4-8 浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数

【問 11 で「1. 家族の全員」「2. 家族の一部」と回答した方にうかがいます。】

問 11-1 帰還する場合の家族の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。（人数で回答）

<図表 3-4-8 浪江町へ帰還する場合の世帯構成・人数>

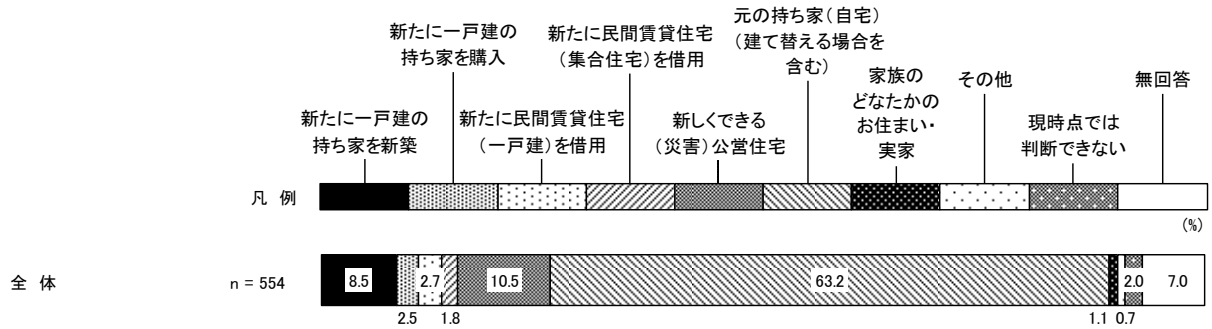


3-4-9 浪江町へ帰還する場合に希望する住居形態

【問 9 で「2.すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問 11-2 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(〇は1つ)

＜図表3-4-9 浪江町へ帰還する場合に希望する住居形態＞



〔その他の内訳〕

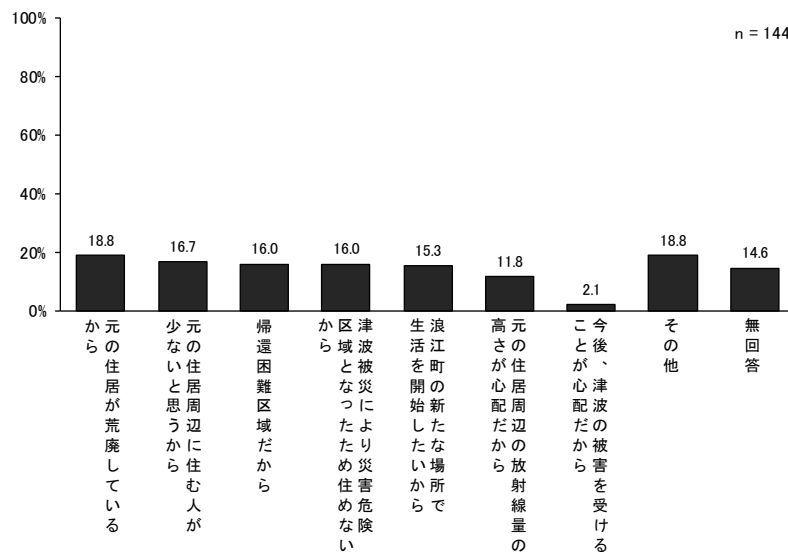
元の民間賃貸住宅(戸建)	0.4%
元の民間賃貸住宅(集合住宅)	-
元の町営住宅	0.2%
元の給与住宅(社宅など)	-
親戚・知人宅	-
その他	0.2%

3-4-10 浪江町へ帰還する場合に元の住居以外を希望する理由

【問 11-2 で「1」から「5」と回答した方にうかがいます。】

問 11-3 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。(〇はいくつでも)

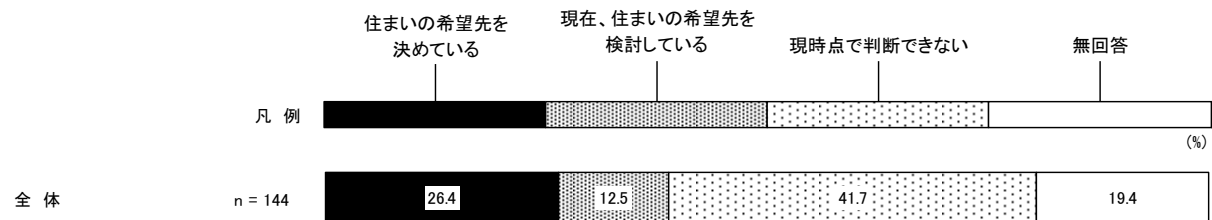
＜図表3-4-10 浪江町へ帰還する場合に元の住居以外を希望する理由＞



3-4-11 浪江町へ帰還する場合に元の住居以外を希望する際の住まい

【問 11-2 で「1」から「5」と回答した方にうかがいます。】
 問 11-4 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。(〇は1つ)

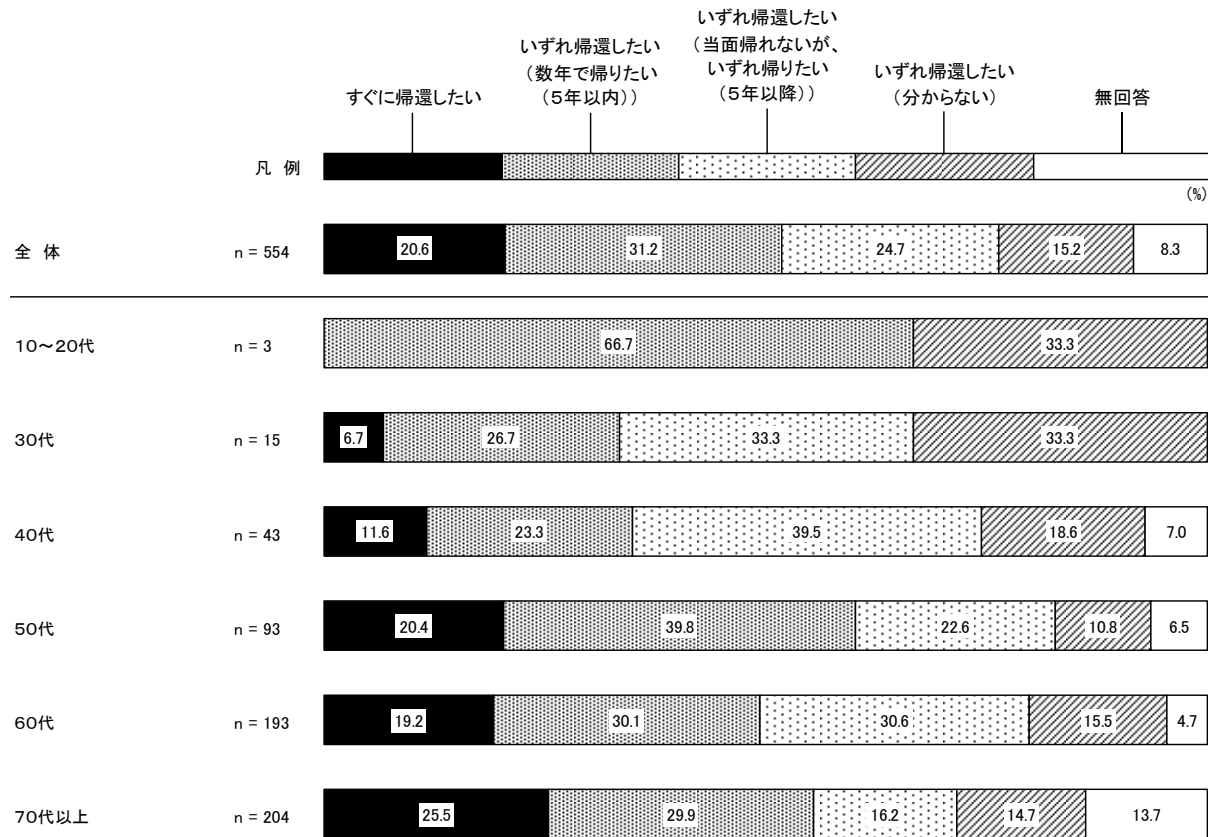
＜図表3-4-11 浪江町へ帰還する場合に元の住居以外を希望する際の住まい＞



3-4-12 浪江町へ帰還する場合の帰還時期

【問 9 で「2. すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方にうかがいます。】
 問 11-5 浪江町へ帰還する時期を教えてください。（○は1つ）

＜図表3-4-12 浪江町へ帰還する場合の帰還時期（年齢別）＞

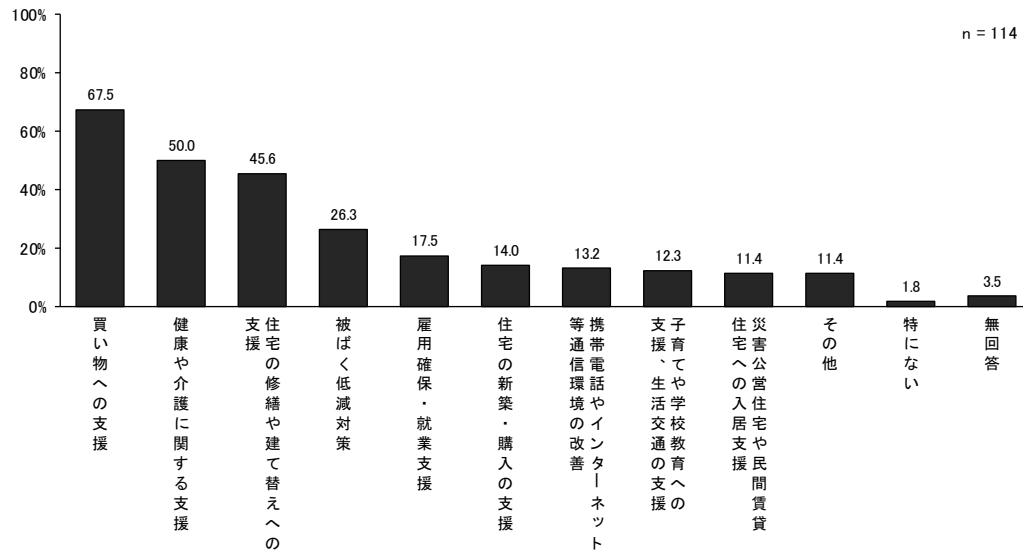


3-4-13 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じる支援

【問 11-5 で「1.すぐに帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問 11-6 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。（〇はいくつでも）

＜図表3-4-13 浪江町へ帰還する場合に不足していると感じる支援＞

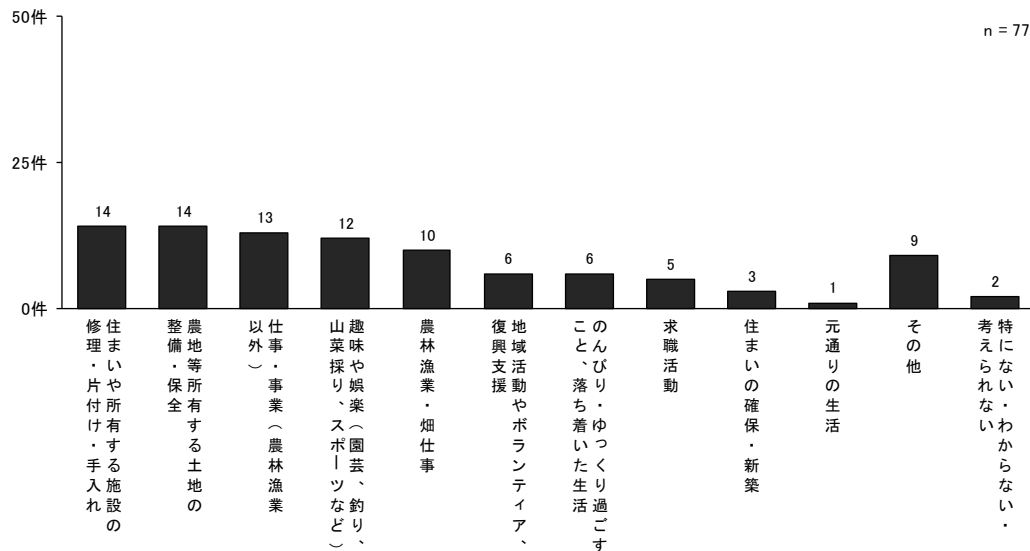


3-4-14 浪江町へ帰還する場合にすぐにでもやりたいこと

【問 11-5 で「1.すぐに帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問 11-7 浪江町に帰還したら、すぐにでもやりたいことを教えてください。（自由記載）

＜図表3-4-14 浪江町へ帰還する場合にすぐにでもやりたいこと＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【住まいや所有する施設の修理・片付け・手入れ】

- 元の住居の掃除、片付け。（50代）
- 自宅周りの整備。（60代）
- 旧屋内の戸障子を開放、外気を存分に入れてやりたい。家内外の整備清掃。庭木の剪定等（職人に依頼済み）。（70代以上）

【農地等所有する土地の整備・保全】

- 納屋の修理、宅地、農地の除草、管理。長年生活してきた場所なので、宅地、農地の管理をやっていきたい。（50代）
- 自宅周辺の整理、畑、山林の手入れ。（60代）
- 猪に石垣、土手、用水路を壊されたのでその修繕等、引き水（飲料水）整備。藪になった耕地、山林の手入れ、作業道の整備。（70代以上）

【仕事・事業（農林漁業以外）】

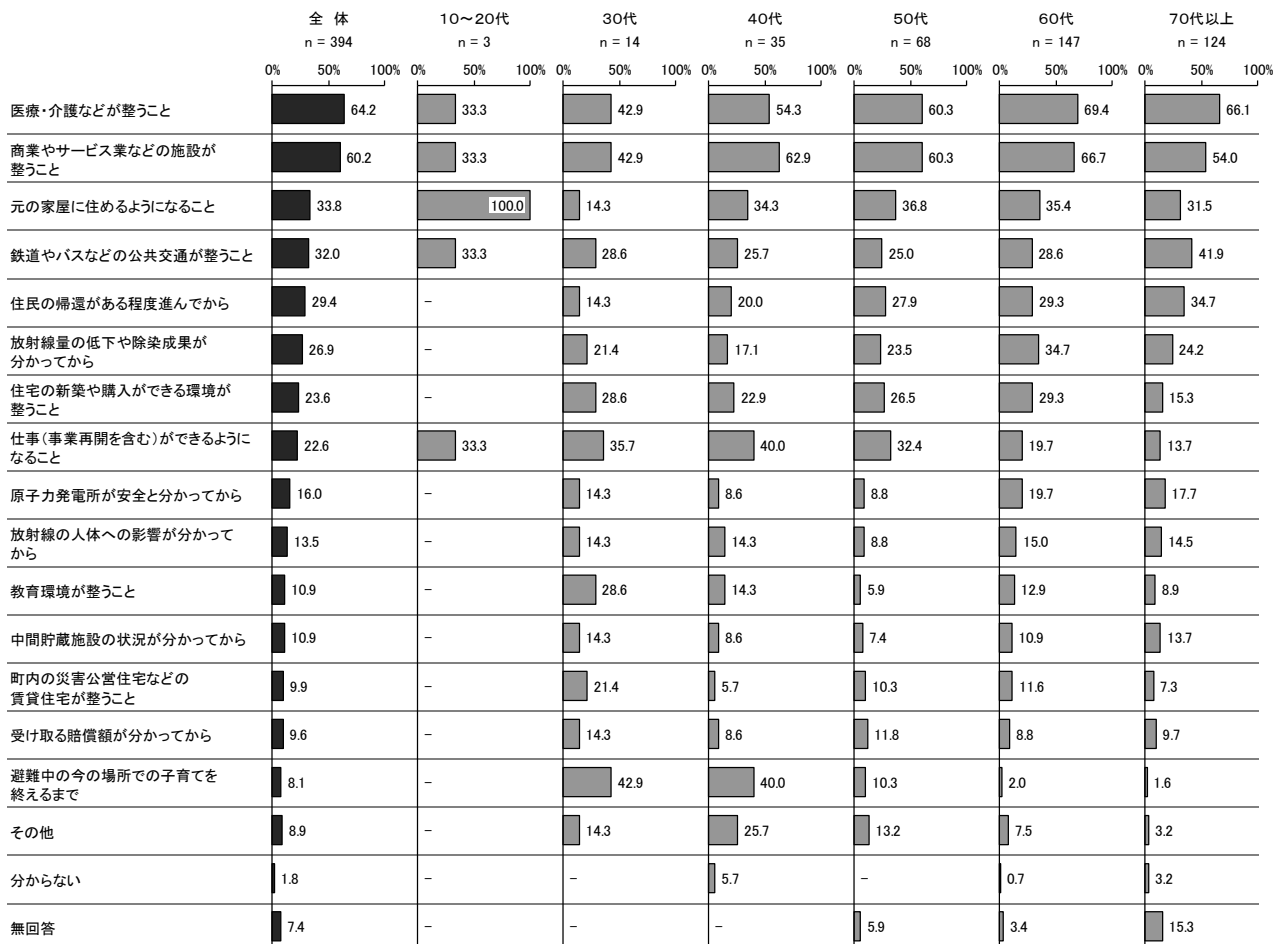
- 妻の実家の仕事を再開するため、いろいろ必要な事があれば準備したい。（50代）
- 仕事の再開。（60代）
- 自分が今までやってきた職業（鉄工溶接工）をシルバー人材でなんでもやりたいです。（70代以上）

3-4-15 浪江町へいずれ戻りたい場合の帰還時期を判断する条件

【問 11-5 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます】

問 11-8 帰還する時期を判断する条件を教えてください。(〇はいくつでも)

＜図表3-4-15 浪江町へいずれ戻りたい場合の帰還時期を判断する条件（年齢別）＞

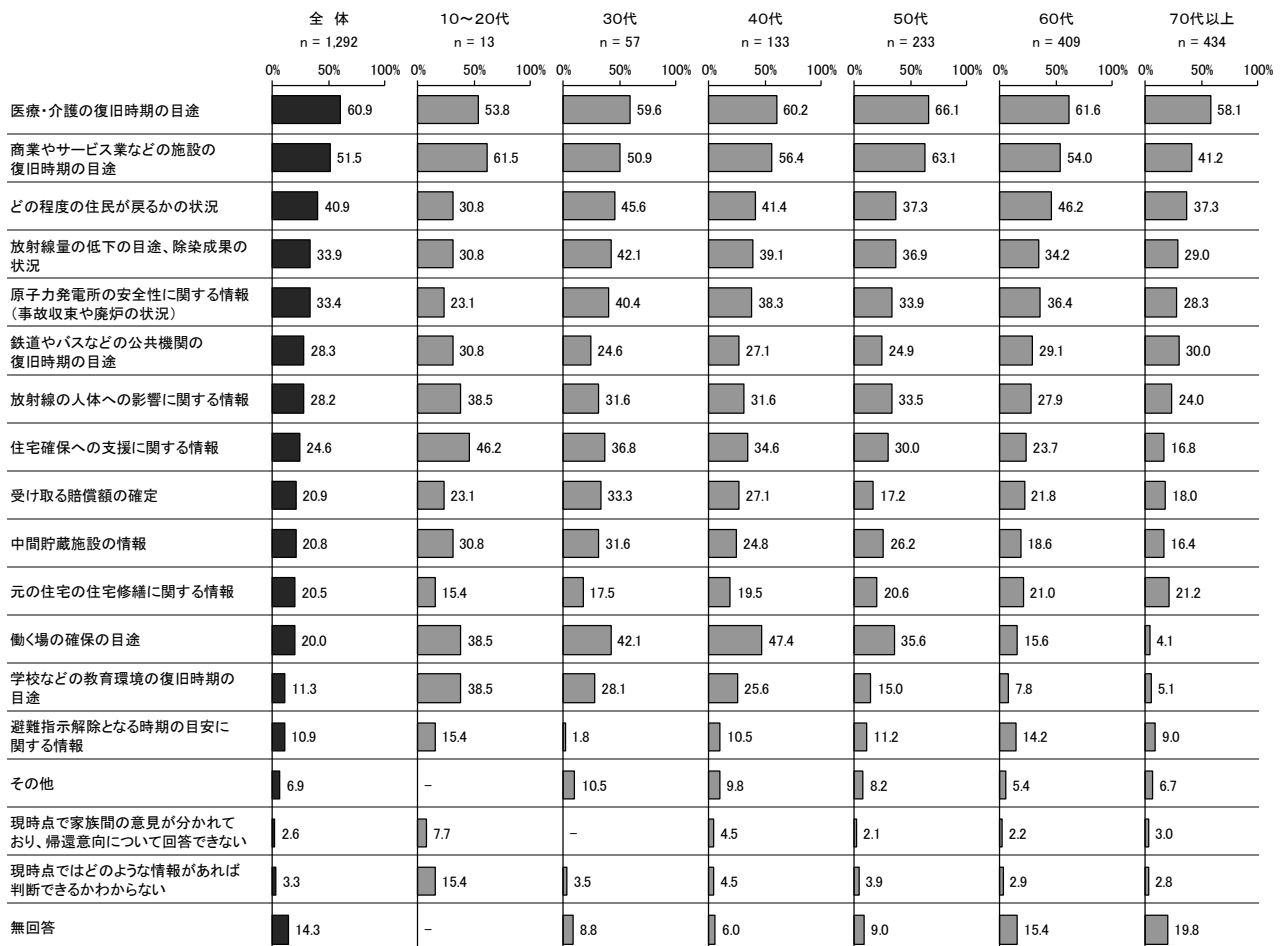


3-4-16 浪江町への帰還を判断するために必要なこと

【問9で「3.まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問12 浪江町へ帰還することを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

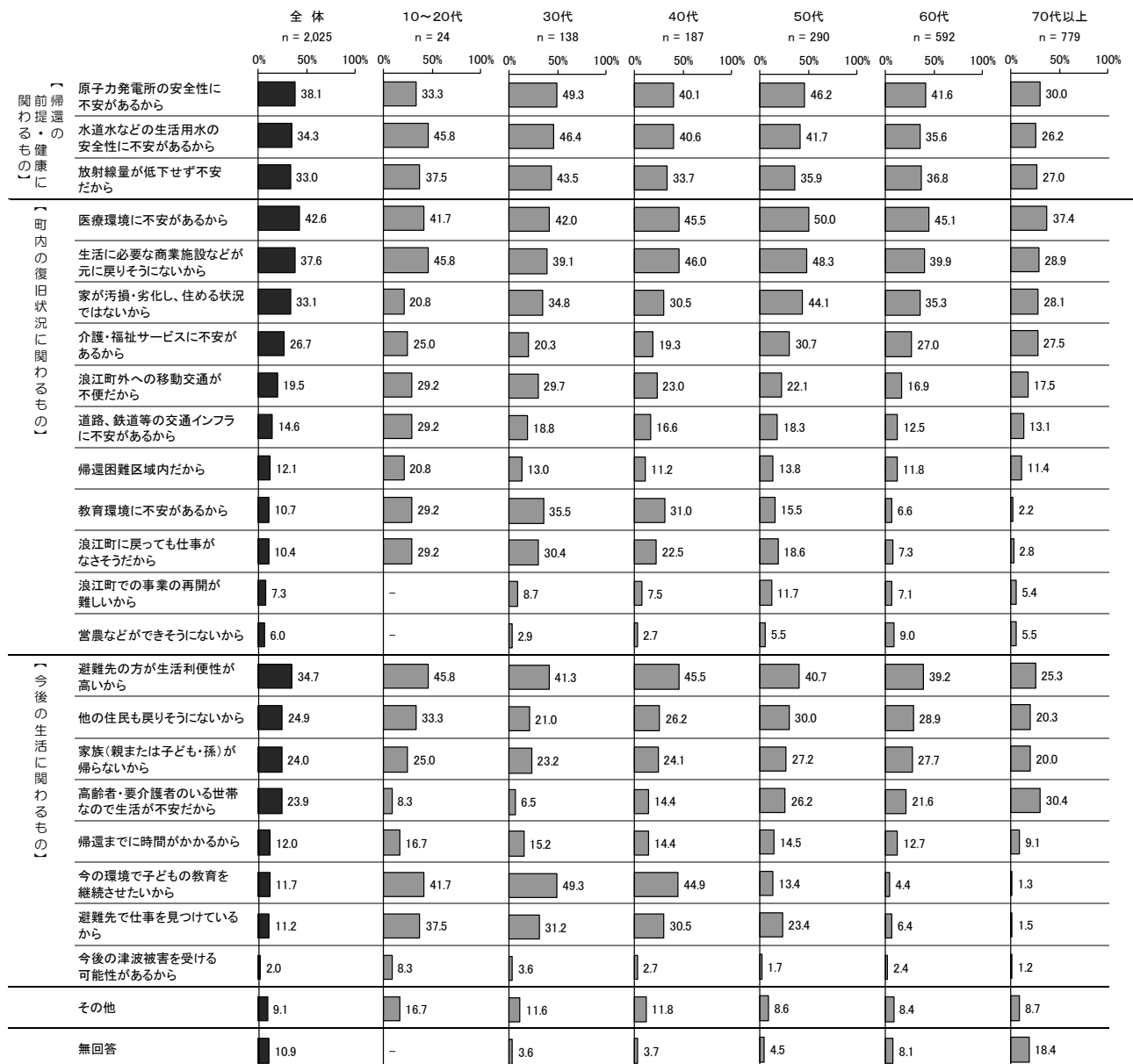
＜図表3-4-16 浪江町への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）＞



3-4-17 浪江町へ帰還しないと決めている理由

【問9で「4.帰還しないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
問13 現時点で帰還しないと決めている理由を教えてください。(〇はいくつでも)

＜図表3-4-17 浪江町へ帰還しないと決めている理由（年齢別）＞



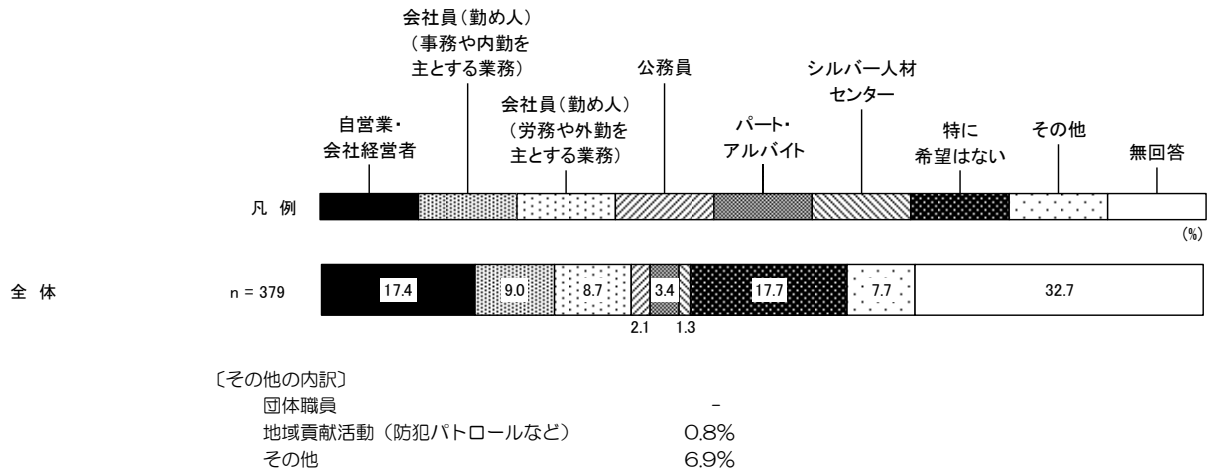
3-4-18 浪江町へ帰還するうえで必要な職業（就業形態）

【問 13 で「4」から「6」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 町内でどのような職業・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。

(1) 職業（就業形態）（〇は1つ）

＜図表3-4-18 浪江町へ帰還するうえで必要な職業（就業形態）＞



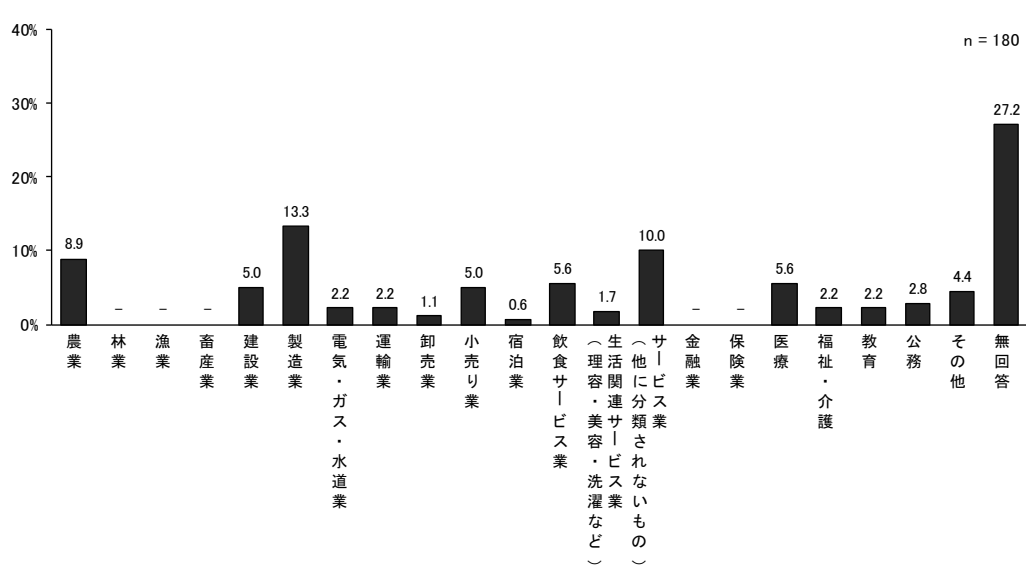
3-4-19 浪江町へ帰還するうえで必要な職業（業種）

【問 13-1 (1) で「1」から「6」、「10」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 町内でどのような職業・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。

(2) 業種（〇は1つ）

＜図表3-4-19 浪江町へ帰還するうえで必要な職業（業種）＞

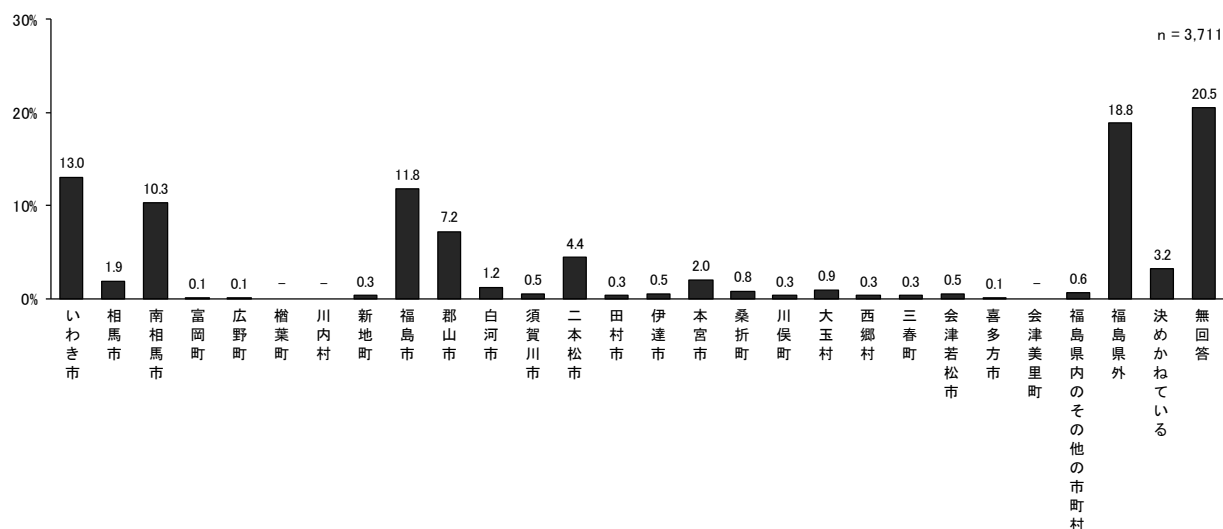


3-4-20 浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間に居住を希望する自治体

【問 9 で「3.まだ判断がつかない」「4.帰還しないと決めている」、問 11-5 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 14 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村（現在のお住まいのままの方は現在の市町村）はどちらですか。その市町村を教えてください。（〇は1つ）

＜図表3-4-20 浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間に居住を希望する自治体＞

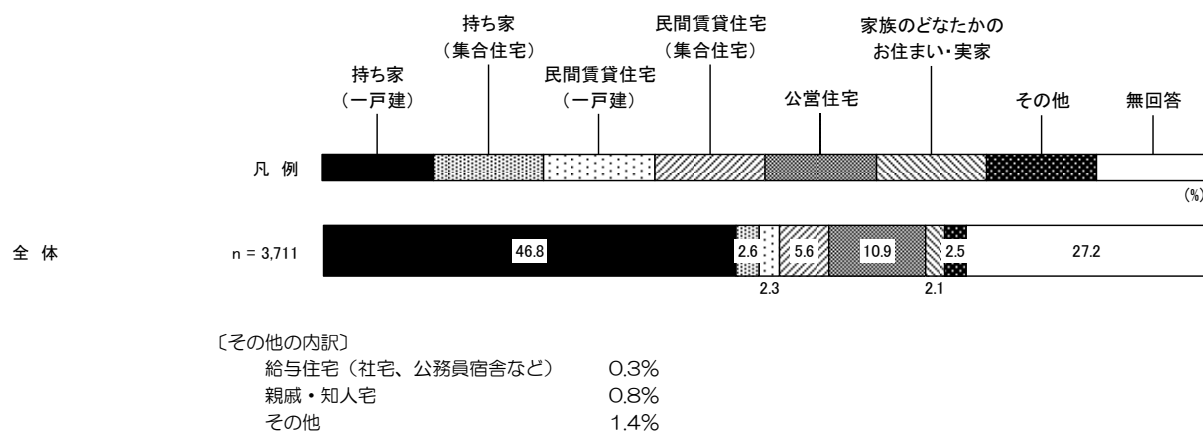


3-4-21 浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間の今後の住居形態

【問 9 で「3.まだ判断がつかない」「4.帰還しないと決めている」、問 11-5 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 14-1 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

＜図表3-4-21 浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間の今後の住居形態＞



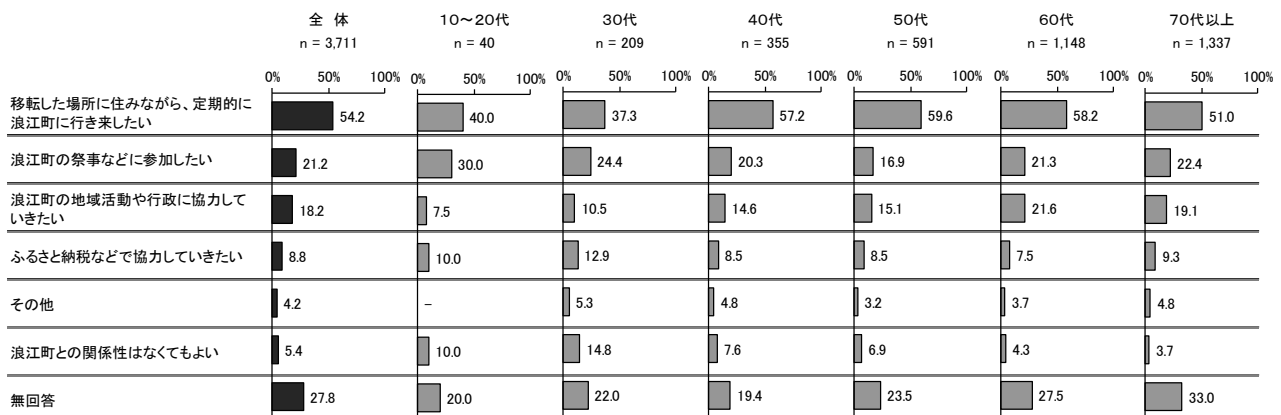
3-4-22 浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間の浪江町との関係

【問9で「3.まだ判断がつかない」「4.帰還しないと決めている」、問11-5で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問14-2 帰還しない場合または帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係 (〇はいくつでも)

＜図表3-4-22 浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間の浪江町との関係（年齢別）＞



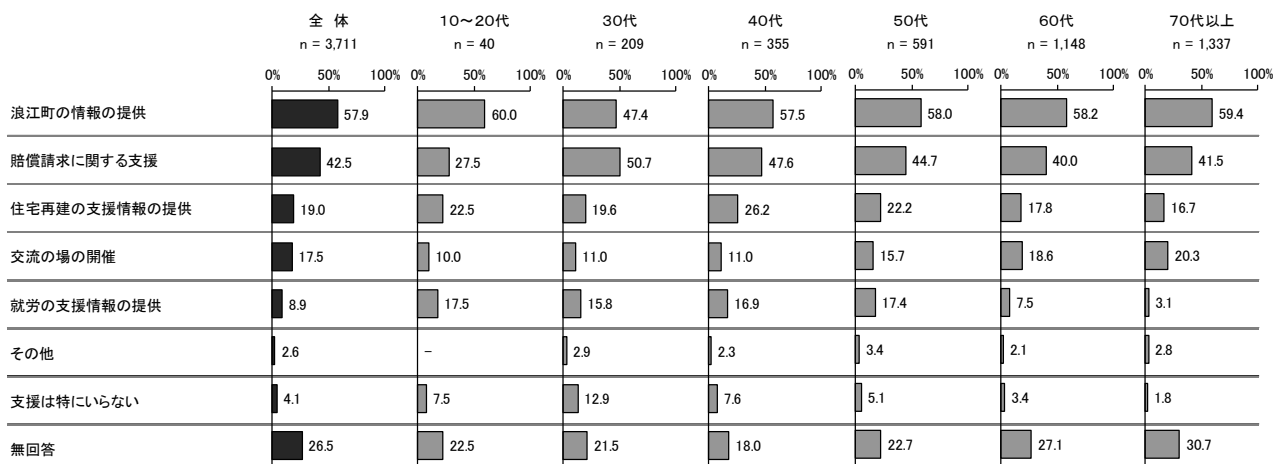
3-4-23 浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間に必要な支援

【問9で「3.まだ判断がつかない」「4.帰還しないと決めている」、問11-5で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問14-2 現帰還しない場合または帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(2) 必要な支援 (〇はいくつでも)

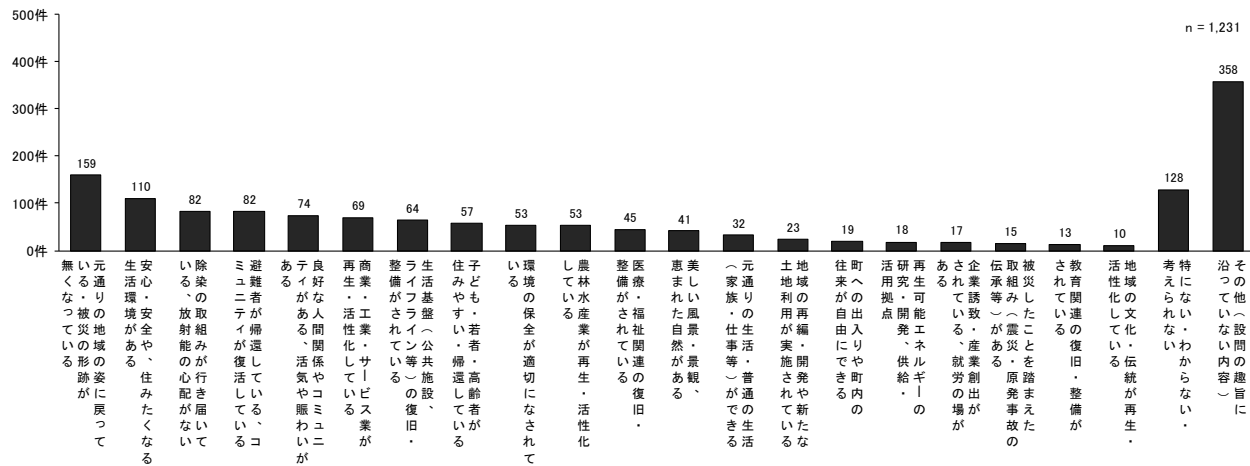
＜図表3-4-23 浪江町へ帰還しない場合または帰還するまでの間に必要な支援（年齢別）＞



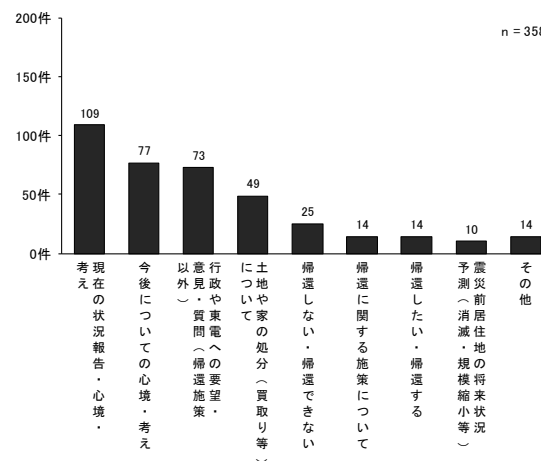
3-4-24 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿

問 15 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿について教えてください。（自由記載）

＜図表3-4-24-1 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿の分類結果＞



＜図表3-4-24-2 震災発生当時の居住地域に望む将来の姿の分類結果（その他の再分類）＞



Ⅲ 調査結果

上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔元通りの地域の姿に戻っている・被災の形跡が無くなっている〕

- ・震災前の姿に戻ってほしい。農家ができる状態に。それは無理だと思うがそれが理想の姿です。稲穂がさらさら揺れる風景が今でも忘れられないです。(10～20代)
- ・元の状態に戻ってほしいのが一番ですが、せめて壊れた家屋や建物が改修撤去され、荒れ果てた外観がなくなしてほしいです。(40代)
- ・望むとすれば、私達が生きているうちに住める環境に戻してほしい。先祖代々受け継いできた土地、野山を返してほしい。(60代)

〔安心・安全や、住みたくなる生活環境がある〕

- ・震災前のように周りの人と助け合いながら生活できる浪江町。(10～20代)
- ・老後の生活まで安心できる町にしてほしい。(50代)
- ・コンパクトシティを作って下さい。医療施設、商業施設などが一ヶ所にまとまっている。(70代以上)

〔除染の取組みが行き届いている、放射能の心配がない〕

- ・放射線量と汚染（放射性物質による汚染）が震災前と変わらない環境と、緑豊かな土地。(40代)
- ・完全に除染作業が終わり、農作物が栽培できる環境が整う事を望みます。(60代)
- ・子供達や孫達が自由に外で遊べるような自然環境にしてほしい。(70代以上)

〔避難者が帰還している、コミュニティが復活している〕

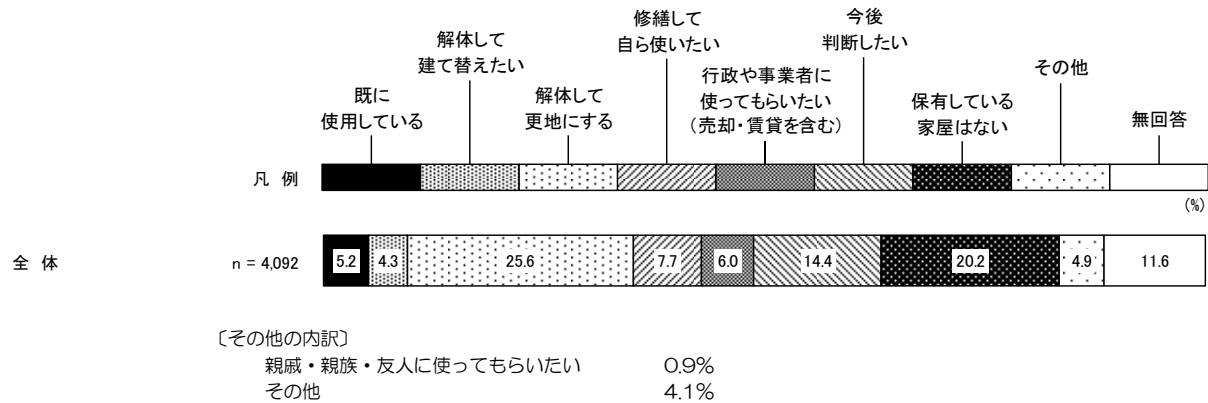
- ・浪江町が復興して住みやすい環境になり、原発事故以前の人達と活気のある浪江町に一歩でも近づいていけるように頑張してほしいです。笑顔で近所の人と話せるような浪江町に戻れるようになるといいと思います。(10～20代)
- ・震災前と同じ地区住民が集まって生活できるような姿にしてほしい。(40代)
- ・放射線の心配もなく、隣組等みんなが戻り、震災前の生活ができれば良いですね。(60代)

3-5 不動産の取り扱い意向

3-5-1 浪江町内に保有している家屋の利用意向

問 16 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。現時点でのご意向に関して、もっとも近いのはどれですか。(〇は1つ)

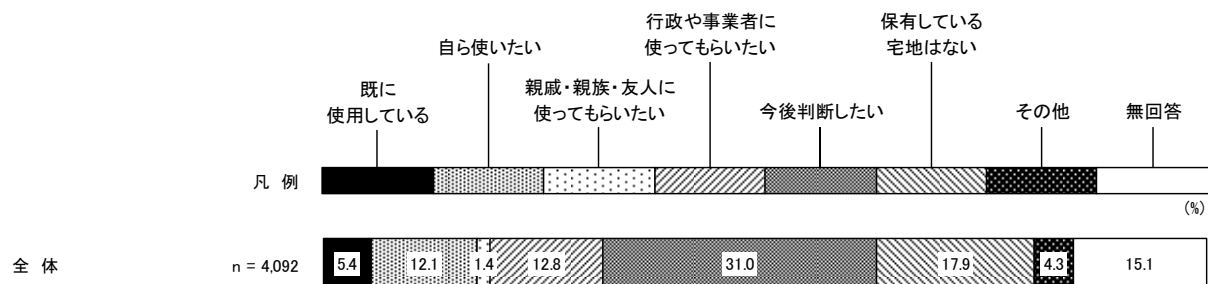
＜図表3-5-1 浪江町内に保有している家屋の利用意向＞



3-5-2 浪江町内に保有している宅地の利用意向

問 17 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

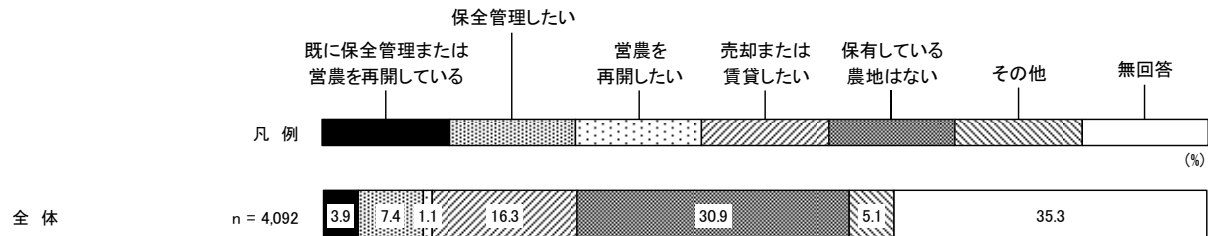
＜図表3-5-2 浪江町内に保有している宅地の利用意向＞



3-5-3 浪江町内に保有している農地の利用意向

問 18 町内に保有している農地（田・畑）の利用意向についてうかがいます。現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）

＜図表3-5-3 浪江町内に保有している農地の利用意向＞

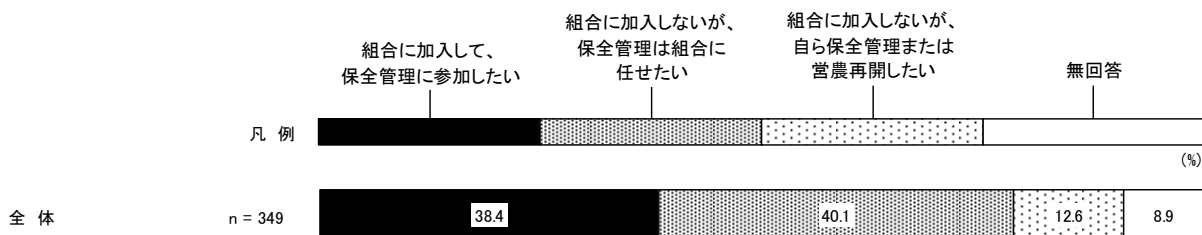


3-5-4 農地の保全を目的とする組合設立への考え

【問 18 で「2.保全管理したい」「3.営農を再開したい」と回答した方にうかがいます。】

問 18-1 今後、各行政区において農地の保全を目的とする組合が設立された場合（すでに設立されている地区を含む）、現時点でのお考えをお聞かせ下さい。（〇は1つ）

＜図表3-5-4 農地の保全を目的とする組合設立への考え＞

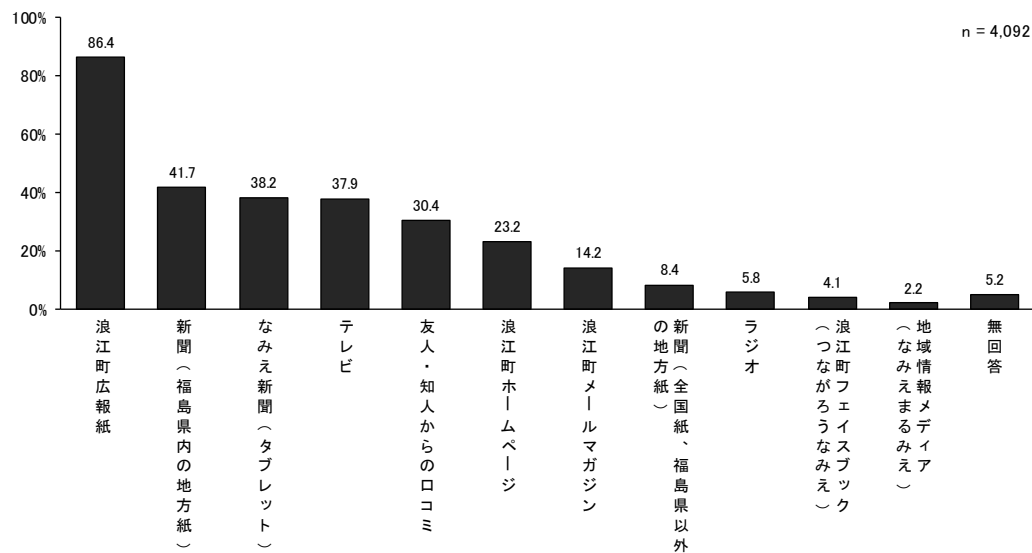


3-6 情報の入手

3-6-1 浪江町からの情報の入手経路

問 19 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(〇はいくつでも)

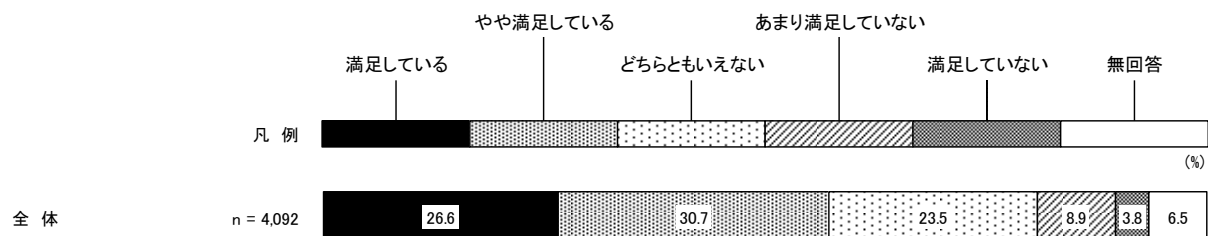
＜図表3-6-1 浪江町からの情報の入手経路＞



3-6-2 浪江町役場からの情報提供への満足度

問 20 浪江町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

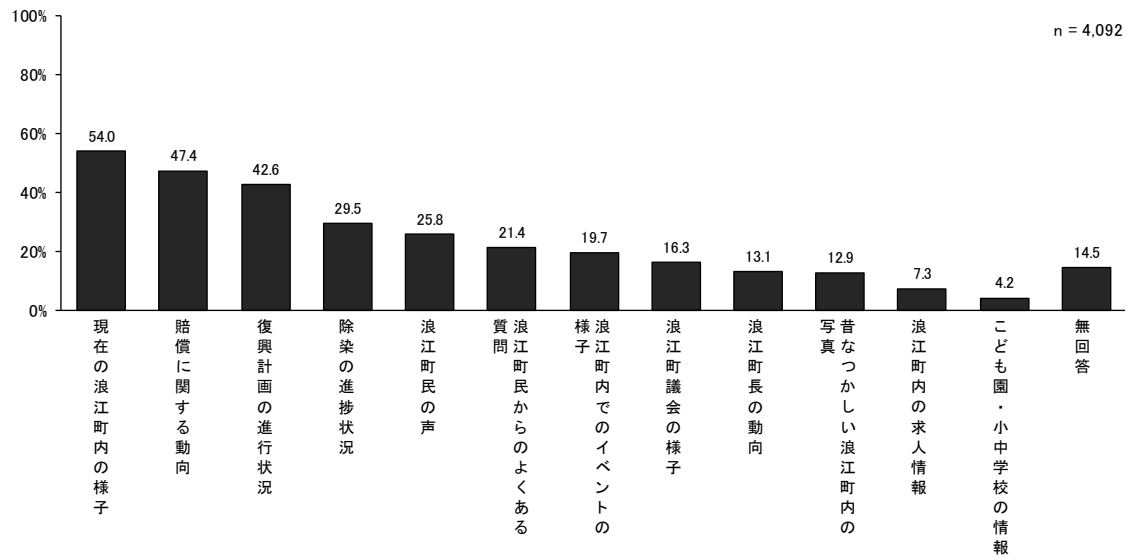
＜図表3-6-2 浪江町役場からの情報提供への満足度＞



3-6-3 浪江町役場から提供してほしい情報

問 21 ホームページ、広報誌、浪江新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。
(〇はいくつでも)

＜図表3-6-3 浪江町役場から提供してほしい情報＞



3-7 意見・要望

問 22 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどについて、1,419 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

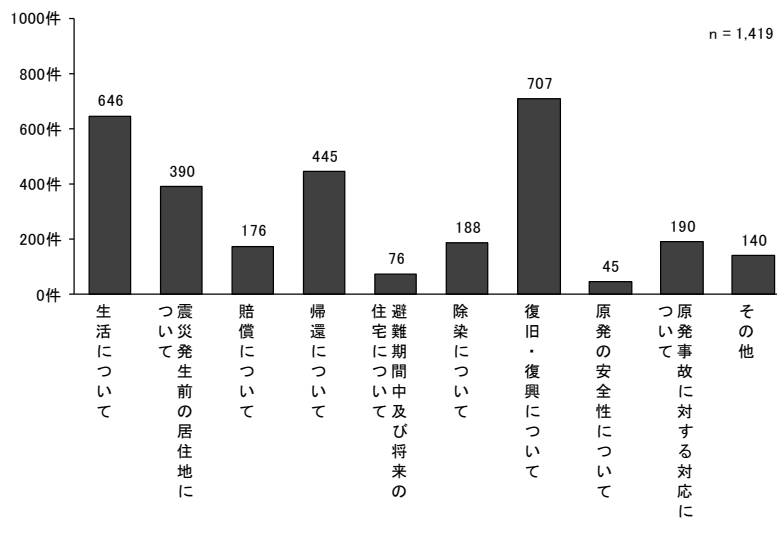
●生活について - 避難生活の長期化への不安 - 元の生活が取り戻せるかどうかの不安 - 元の生活、安定した生活の回復 - 元の生活に戻ることにについてのあきらめ - 現在の生活について - 現在の生活の人間関係・コミュニティについて - 現在の生活の経済的な不安について - 現在の生活の健康に関する不安について - 現在の生活の仕事・学業に関する不安について - 現在の生活全般の不安について - 将来の生活に関する考えについて - 将来の生活の経済的な不安について - 将来の生活の健康に関する不安について - 将来の生活の仕事・学業に関する不安について - 将来の生活全般の不安について - 生活（再建）支援について - その他	●除染について - 除染作業の意義について - 除染作業にかかる費用の他への活用について - 除染作業の効果などについて - 除染作業の実施箇所などについて - 除染作業の早期・迅速・的確な実施について - 除染作業スケジュールの明確化について - 除染廃棄物の処理について - その他
●震災発生前の居住地について - 帰還困難区域への立入りにについて - 帰還困難区域等の設定について - 所有する住まい・土地の買取りについて - 自宅の現状（被害状況）について - 自宅の再建・改築・解体について - 元の住居や土地などの管理・処分について - 元の住居や土地に対する税について - 所有する墓地の維持・管理・移転について - その他	●復旧・復興について - 復旧・復興の遅れ、長期化について - 復旧・復興のスケジュールについて - 復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について - 町村合併について - ライフライン・インフラの整備について - 社会福祉施設の整備について - 医療施設の復興・充実について - 学校の復興・充実について - 商業の復興・充実について - 住民の参加・自助努力について - 早期の原状回復・復興実現について - その他
●賠償について - 賠償内容・方法について - 賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について - 所有する住まい・土地に対する賠償全般について - その他	●原発の安全性について - 廃炉作業の迅速な実施について - 廃炉作業全般について - その他
●帰還について - 帰還への不安 - 帰還可能時期の明確化について - 帰還したい - 帰還しない - 現時点では帰還の判断ができない - 帰還に関する施策について - 帰還を望まない人への対応について - その他	●原発事故に対する対応について - 行政や東電の対応について - 対応の長期化、遅れについて - 情報の開示・発信について - 中長期的スケジュールについて - その他
●避難期間中及び将来の住宅について - 復興公営住宅の早期・迅速な建設について - 復興公営住宅の建設地・形態等について - 復興公営住宅に係る経済的負担について - 復興公営住宅への入居について - 居住場所の確保について - 借上げ住宅について - 住宅の購入について - その他	●その他 - 今後のエネルギー政策について - 行政に対する謝意、励まし - その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

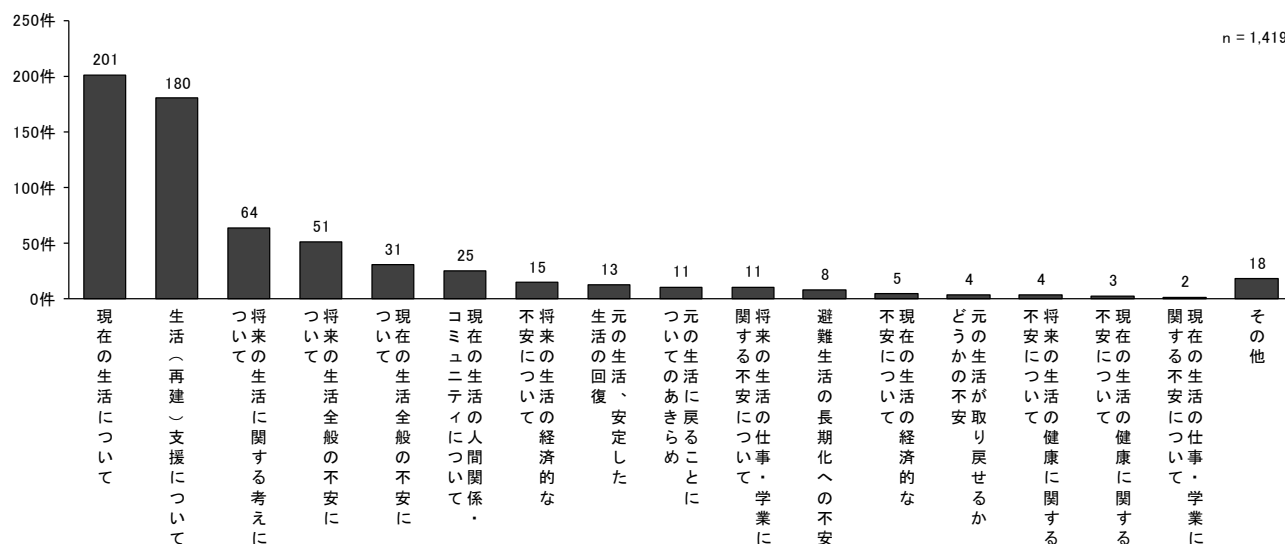
3-7-1 意見に係る記入内容の分類結果

＜図表3-7-1 意見に係る記入内容の分類結果＞



3-7-2 生活について

＜図表3-7-2 生活についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔現在の生活について〕

- ・帰還するかはまだ判断できないが、浪江町のニュース（最近で言えば十日市）をテレビで見ると、なつかしい、うれしい気持ちになります。単に人が生活できる復興ではなく、町民に浪江町に戻りたいと感じさせるように進めていってほしい。（30代）
- ・現在、新たな気持ちで生活していますので、浪江町に関する情報からは解放されたい、という思いも強くあります。広報誌等も、送っていただかなくてもいいかと考えています。いつまでも「避難者」「被災者」ではいけない。そんな思いです。（40代）
- ・現在、他県で生活していますが、周りの人々がとてもやさしく、親切なので安心して生活しています。母も高齢ですが、近所の人に誘われ、いろいろなサークル等で楽しくやっています。ここが一生の住処として生活しています。（60代）

〔生活（再建）支援について〕

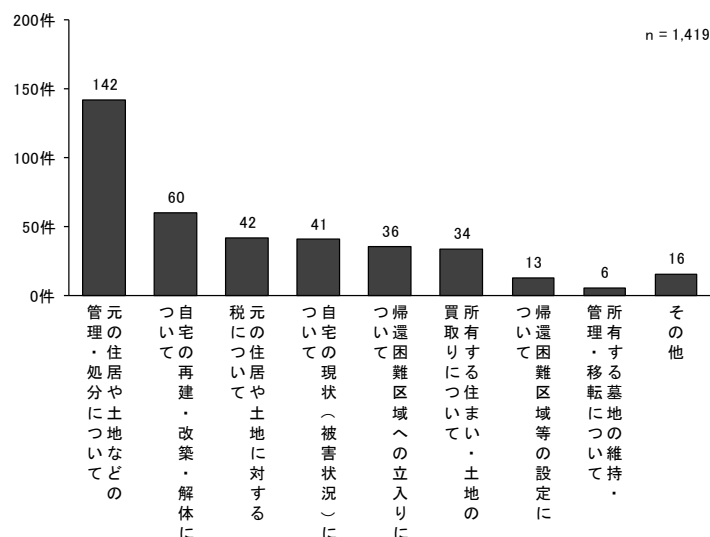
- ・国民健康保険一部負担金等免除は、少しでも長くお願いしたいです。（40代）
- ・前に進んでいる方もおりますが、どうして良いか困っている方も沢山いると思います。子供の不登校や、精神的な事、1人1人に寄り添ってほしいと思います。楽しい事ばかりではないし、助けてほしい人もいると言う事も知ってほしいと思います。（40代）
- ・復興の途中である以上、今認められている医療費や高速の無料化や税制面でも、少しでも長く継続して欲しい気持ちです。（50代）

〔将来の生活に関する考えについて〕

- 復興はしてほしいですが、子供を育てていくのには不安が残ります。将来的には行き来できればいいなと思っています。(40代)
- 働けるうちは現在の状況でがんばりたいと思っていますが、いずれ年老いた時には、のんびり故郷で過ごすのが理想かなと思っています。いずれなつかしい場所へ戻れば、いいかなと思います。(50代)
- 復興するため、そして県民・町民のために一生懸命に頑張ってくれてることを県・町に感謝してます。隣の南相馬市に居て、出来るかぎり町のことは協力し一生浪江町民で終えたいと思っています。(70代以上)

3-7-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-7-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔元の住居や土地などの管理・処分について〕

- ・浪江町では賃貸アパートに住んでおり、農地を転用し、住宅を建てよう計画していました。宅地にした土地も、今はそのままです。宅地を売りたいと思っています。しかし、現状では、なかなか買う人がいません。（40代）
- ・もう戻らないと決めた人への支援もお願いします。家屋の手続など手助けしてほしいです。税金も負担になってくるので有効な方法があれば教えてほしいです。（40代）
- ・自宅の土地を売却したいのですが、どんな手続をすればよいか知りたいです（家屋は、解体済み）。（70代以上）

〔自宅の再建・改築・解体について〕

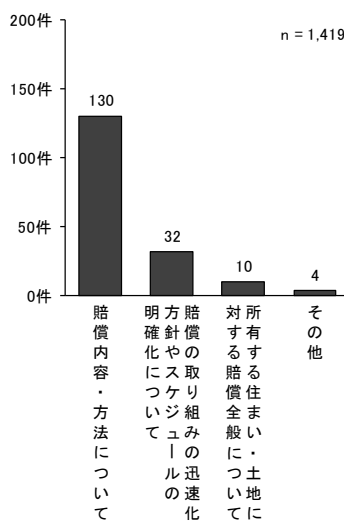
- ・浪江町に帰町するたびに、建物が解体されだんだんと寂しくなります。これから町がどのように復興していくのか不安です。町民には、目に見えるような、復旧、復興が分かりません。早急に、復興計画の実行をお願いします。（60代）
- ・現在の宅地は特別警戒区域になっていて、建築制限がかかっています。家は解体したが同所には建てることはできません。この場合には地目変更（畑、山林など）は簡単にできるかどうか知りたい。町に戻るとすれば別の私有地に建て直したいと考えています。（60代）
- ・汚損劣化状況につき修理費がかさみ直す事が出来ません。町で決めている支援では、とても間に合いません。もう少しなんとか出来ませんか。（70代以上）

〔元の住居や土地に対する税について〕

- 家屋を解体したいが、今後の税金が気になっています。避難先に家屋も購入しているので解体したいのですが、解体した後の税金の優遇措置等を検討してもらいたいです。（40代）
- 今後、浪江町の自宅に固定資産税が発生することが納得いきません。別の場所に自宅を建てた場合、二軒、税金を支払うことになります。（50代）
- 中間仮置に田地を協力しているが課税されるのは…いかななものか？非課税にはならないのか。（60代）

3-7-4 賠償について

＜図表3-7-4 賠償についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔賠償内容・方法について〕

- 働かない人がいい思いをし、がんばっている人がバカを見る様な賠償の仕組みは良くない。働かなくてもお金がもらえる。これでは働かない人を作っているだけ。またこういう大人を見て育った子どもはまた同じ生き方をする。避難を全部解除して賠償をやめるべき。(50代)
- 原発事故後、賠償金での格差がありすぎ、浪江に戻りたくても戻れない状況を国や自治体はどう考えているのか。(60代)
- まだまだ普通の生活に戻ることが出来ないので、精神的損害の賠償を続けてほしい。(60代)

〔賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について〕

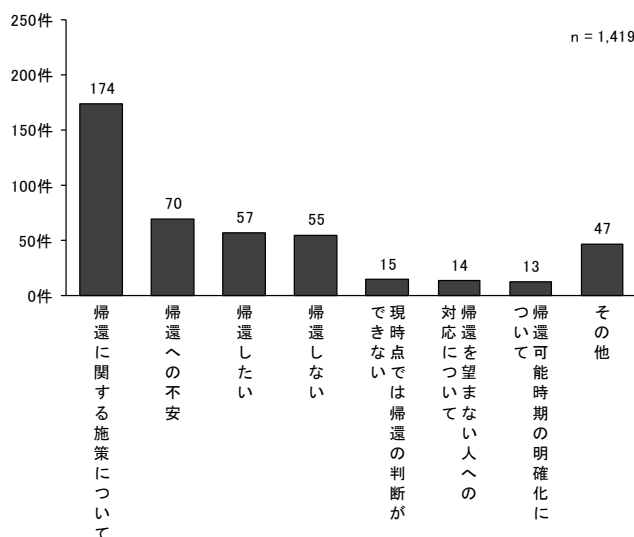
- 浪江町として、東電に対しADRを通し賠償請求を行っていると思いますが、その進捗状況が全くわからないのでわかるようにしてもらいたいと思います。(50代)
- 浪江町の津波被災者に対する補償のアナウンスがゆき届いていない。帰還困難地域との格差をなくすと言っていたが、事業計画を出して補償を受けなければならない事はつい最近知った。きちんと全世帯に通知すべき事ではないか。(60代)
- 浪江町独自の浪江町民への賠償請求（東電か国）のその後の経過はどうなっているのか？少しでも明るい方向に進んでいるのか？それとも諦めているのか？現在のはっきりしている事を知りたい（回答をほしい）。(60代)

〔所有する住まい・土地に対する賠償全般について〕

- 家を解体して建て替えることは若い人には無理なので、リフォーム又は修繕できるような賠償をもっと考えてもらいたい。(40代)
- 津波流出の家屋については、新築する上で、あまり賠償がない。しかし、津波流出の家屋以外の家庭で新築する場合は、ほぼ満額の賠償。世間一般の人たちには、同じ賠償を受けていると思われる。(50代)
- 自分も年齢的に健康面もよくないので農地、宅地を管理することは、なかなかできなくなるので、国や東京電力に早く本賠償してもらいたい。(60代)

3-7-5 帰還について

＜図表3-7-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還に関する施策について】

- ・住民に帰還してもらわないと、町の存続問題にも関わって来るので、それなりの町や国などの支援策なども必要になって来ると思います（50代）
- ・住民が一人でも多く、帰還できるような取り組みを行なってもらいたいです（商店、商工会とのマッチング、総合病院の誘致他）。（50代）
- ・人々が帰還したくなる町作りを実践すること。インフラ整備はもとより、きれいな街並みの整備、帰還者に対する税制優遇等、何らかのメリッ的なものが必要。（60代）

【帰還への不安】

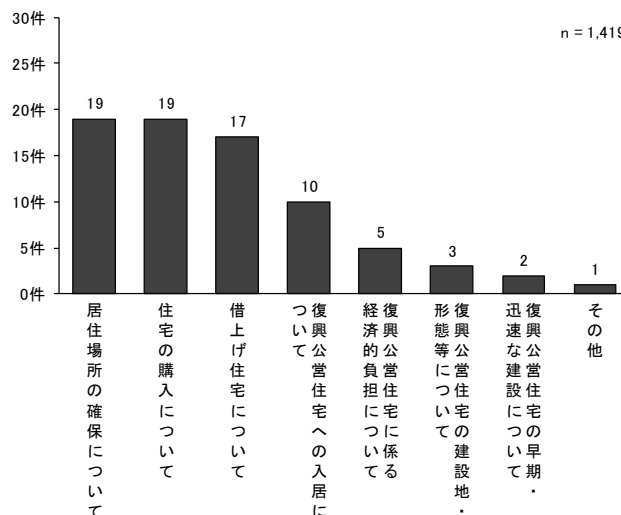
- ・元の生活には戻れないので、一部の人が戻ったとしても隣が廃墟だったら生活してても不安しかないと思う。店なども少ないし、仮に店があったとしても、閉まる時間が早く、仕事をしていたら間に合わなそうだし、物も少なそう。（40代）
- ・原発の不安があるため、戻ることをためらう住民は多いと思う（特に子育て世代は）。（40代）
- ・我家の前の県道は復興関係のトラック等が激しく往来しており、帰還しても危険なためとても以前のような生活は出来ません。復興が終わるまで、帰還はむずかしいと思っています。（60代）

【帰還したい】

- ・いつかは浪江へ戻って静かに過ごしたいと思ったりします。戻ったとしても、家に1人で居るのはとても淋しいので、近くにみなさんが気軽に集まれる場所があると楽しいのではないかと思います。（40代）
- ・一人でも安心して暮らせる環境が整ったら浪江に戻りたいです。（50代）
- ・一刻も早く除染を行い、避難指示を解除し自由に我が家に行けるようにしてほしい。いずれかには、家に帰るつもりで妻とも話をしている。この希望があることで心の安定を保っている。（60代）

3-7-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-7-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔居住場所の確保について〕

- ・もし、なかなか皆が帰還しないのなら、役場、駅、学校などの公共施設付近に、帰還した人を優先的に住居を取得出来る様に働きかけ願いたい。(50代)
- ・今後どこに住むのが一番良いかわからない。気持ちが定まらない。常に迷う。(50代)
- ・帰りたい気持ちはありますが、住んでた家は地震のため劣化がひどく住める状況ではない。今いるところに住居をもとめ私達の代はこのままここに住んでいこうと思います。(60代)

〔住宅の購入について〕

- ・空き家等もう少し安価で賃貸もしくは、販売していただけると、浪江町民はもとより、他県、市町村から移住を希望している方も浪江に関わり易くなるのではないかと思います。(30代)
- ・浪江にも、小さくてもいいから家を建てることできると行きやすいと思っているが、金銭的にむずかしい。(50代)
- ・知らない土地で0から出発、2世帯住宅を建築予定であるが年齢も80歳になるのですべてが不安である。どんな隣組なのか？まわりに同じ状況の人がいないのでなじめないのじゃないか…等。(70代以上)

〔借上げ住宅について〕

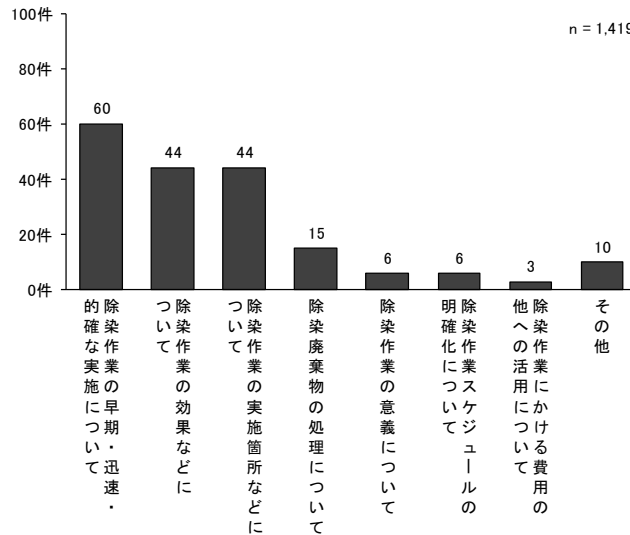
- ・子供の教育が終了するまで、現在の借上げ住宅を継続してほしい。いずれ帰還希望。現在中学生であり、高校卒業まで借上げを希望。(50代)
- ・借上げについて、平成30年3月で借りを打ち切るといいながら1年(2019年3月)延ばしたことによって帰還する気持ちがなくなってしまうと思う。町村に帰還した人たちのことを思うとどこかで打ち切ることも必要だと思います。(50代)
- ・借上げ住宅も平成31年3月まで延長になったが私は透析のため福島の病院に通院しています。車の運転は妻なので透析の終わるまでの休む場所がないとこまります。その後も継続かなんらかの対策があれば幸いです。(70代以上)

〔復興公営住宅への入居について〕

- 今後も避難解除地区も含め被災者への復興公営住宅優先で継続的に入居募集をお願いしたい（避難解除地区の人も県内の公営住宅に入居できるように！）。（40代）
- 浪江町に公営住宅（町営）を建設した場合入居者は抽せんを決めるのでしょうか空家が出た場合遠隔地の公営住宅入居者の移転条件を緩和して欲しい。（60代）

3-7-7 除染について

＜図表3-7-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔除染作業の早期・迅速・的確な実施について〕

- ・原発が廃炉になるまで除染を定期的に行ってほしいです。（40代）
- ・除染が終わったとはいえ、町民の不安は払拭されていない。徹底したフォローアップ除染を進めそれらの情報を正確に開示する事が大事だと思う。（60代）
- ・特定復興再生拠点区域も大切ですが、震災前と同じ生活を自宅に戻って暮らせるように除染してもらいたい。（60代）

〔除染作業の効果などについて〕

- ・除染が進んだとしても到底帰還を考える程には下がらないと考える。子供の将来を考えると、地元がなくなってしまったのと同じというのは、若い世代の浪江町民に対して申し訳なく思う。逆に全てリセットされた状態なので、理想的な小規模なコミュニティを造る事が可能。（50代）
- ・除染は終わったが、まだ「線量」が高く安心して子供や孫を呼ぶことは出来ない！！（50代）
- ・家の外は除染され数値も下がっていますが、屋内は外より高く基準値を超えています。これは掃除をしても変わりません。この状況では帰還する気になれません。（70代以上）

〔除染作業の実施箇所などについて〕

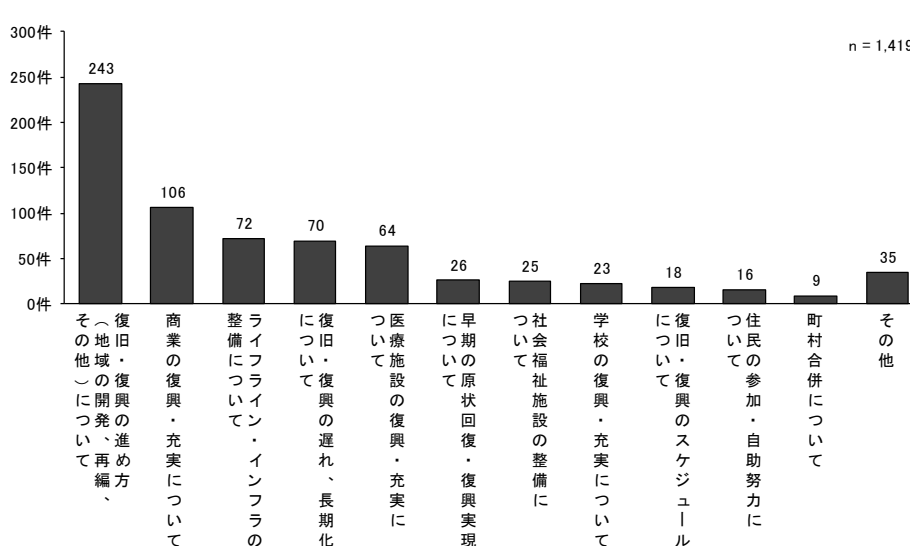
- ・困難区域を含む山林等の除染を少しずつでも進めていただきたい。（60代）
- ・酒井地区は帰還困難区域であるが早々に除染を実施し住める状態にすること。（60代）
- ・川添地区は放射線量が高いので継続して除染作業をして下さい。（70代以上）

〔除染廃棄物の処理について〕

- ・避難解除の定義は、町のあちこちにある黒いフレコンバッグがすべて暫定の保管場所に移動し、元の生活感が実感出来ることではないでしょうか？（50代）
- ・双葉郡は（浪江町内）のフレコンバッグ（黒い袋）を一日も早く撤去する事が、帰還の時期に関わると思います。避難解除された地域を優先に考えるべきです。（60代）

3-7-8 復旧・復興について

＜図表3-7-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について〕

- ・復興特区を作り、法人税などの優遇をすることで企業の誘致などをして、人を集めて、経済が動くようにして欲しい。（40代）
- ・浪江町中心街の土地区画整理事業を行い、放射能への不安を取り除き、若者が賑わう町づくりに取り組んで欲しい。（50代）
- ・町単独の復興の他、相双地域全体の大きな視点での街作りが大切かと思う。市町村の相互の発展を見すえていくことが大切かと思う。（60代）

〔商業の復興・充実について〕

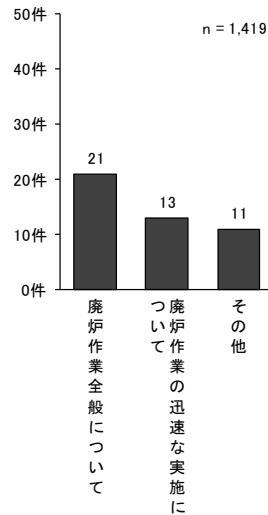
- ・商業施設（特にスーパーマーケット等）の再開が遅すぎるように考えています。これが第一ではないか。（50代）
- ・現在の浪江町で生活する上で、買物が大変不便と考えている。道の駅とかいろいろ計画されているが、最優先は、スーパーの設置であり、そのための最大の努力が必要（補助も含む）。（60代）
- ・駅前土地を町で買上げて商店街みたいにした方が駅前がにぎやかになるのではないのでしょうか？（70代以上）

〔ライフライン・インフラの整備について〕

- ・子どもの遊び場を作ってほしい。自分の代では無理でも、子ども達の代の時には、震災前のような姿に戻ってほしいなと思います。（10～20代）
- ・国道114号線の改良を促進し、県庁所在地の福島市からのアクセスを良くすることにより、企業の進出など人・物の交流を活発にしてほしい。又、常磐道は、全線複線化してほしい。（60代）
- ・早期にJR常磐線の全線再開をしてもらう。出来れば、乗り換えが無く仙台や東京まで行ける様につなげてもらいたい。（60代）

3-7-9 原発の安全性について

＜図表3-7-9 原発の安全性についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔廃炉作業全般について〕

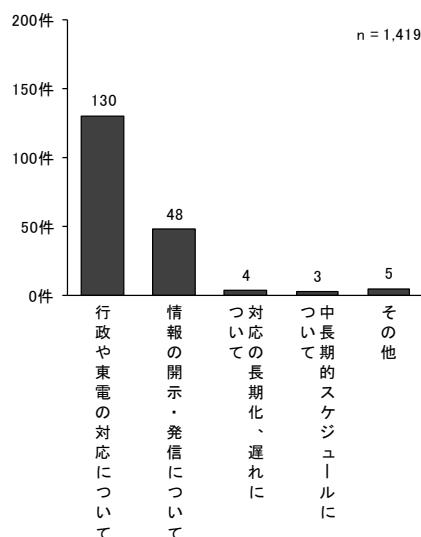
- ・廃炉作業を事故なく安全に進めていただきたい。(30代)
- ・やはり浜通りは原発の町。あれだけひどい事故を受けても、除染土の処理施設の稼働、廃炉に伴う関連企業の誘致。もういいかげん原発と離れたらいい。(60代)
- ・東京電力の福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所の廃炉を完全に実施すること。そうしなければ帰還するにも心配はなくなる。(60代)

〔廃炉作業の迅速な実施について〕

- ・原発をなくしてほしい。ある限り、また住む場所を追われそうで落ちつけない。(30代)
- ・一刻も早い第一原発の廃炉による安全へ。方向性が見える様にしてもらいたい。(60代)
- ・原発廃炉をできるだけ早く安全に進めていただきたい。(60代)

3-7-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-7-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- オリンピックや大きな行事に力を入れている国に対してですが福島原発で被害にあった人、帰還できない住民に思いやりがあっても良いのでは？ただ 100%は向き合えないでしょうから何かしらの態度を示して頂きたい。浪江町がどのような姿に激変したか、落ちこぼれたのか、数回、足を運んだだけでは何も理解できないですよ。（10～20代）
- 一部解除したからといって、丸くおさめてほしくない。原発事故について、政治家が変わっても、最後まで国として、責任を負って欲しい。（40代）
- 浪江町も国も東電も仕事をしながら生活している住民に対してもっと寄り添った対応を望む。土・日曜日にしか相談に行けない人がいることを考えてほしい。（50代）

【情報の開示・発信について】

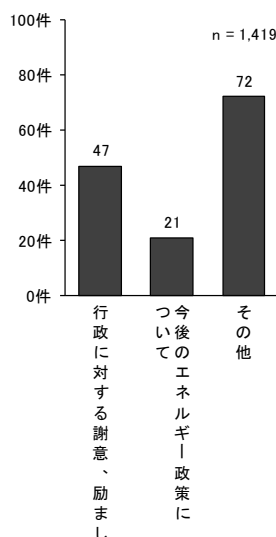
- 放射線量も公開されている数値と、実際に自宅に帰った時の数値とで異なるため、どの情報やデータを信じていいのかわからない。後々、人体に影響が出てからでは遅いと思う。ふるさとを失いたくない、帰る場所を子ども達にも残したいが、現時点での判断が難しい。それらが解決し、前向きになれるような説明がほしい。（30代）
- 復興復興とは言うけれど原子力発電所を廃炉解体するまでに事故が起きないという保障はどこにもない。現実として、国、県は事実をどこまで開示して来たのか不透明です。（60代）
- 情報を得るのに、タブレット、フェイスブック、ホームページ等々何も使用する事ができなく、広報等が頼りです。こまかい情報をぜひ載せて下さい。（70代以上）

〔対応の長期化、遅れについて〕

- 避難が長期間になると失われるものも多々あり、精神的なダメージを受ける事がある。中間指針の見直しをしてほしい(状況も良くなっている事だけでなく、悪化している事も多々ある)。中間指針を決める側が、東日本大震災や原発事故に対する考えが風化しているのではないかと疑問に思う事がある。(40代)
- 国に対して。原発事故から7年になろうとしている。未だ、我々浜通りの8ヶ市町村の再興ははっきり見えて来ない。国はこの福島県浜通り地区をどのように、いつまで再生させるかのビジョンがほしい。帰還困難地域をいつまでに再生させるか！はっきりした(国としての)意志を明確にして、復興に取り組んでいただきたい。(60代)

3-7-11 その他

＜図表3-7-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 職員の方々へ。みなさんの努力が必ずや100年後の浪江のためになると思います。がんばって下さい。お身体に十分気をつけられて下さい。(50代)
- 復興に携わっているすべての方々に御礼申し上げます。元の姿に戻るまではまだまだ長い月日がかかるでしょうが、諦めないで前進して行く事が、大事です。(60代)
- 日頃から復興・復旧に携わっている町職員の皆様には頭の下がる思いです。どうぞ健康に留意してください。(70代以上)

【今後のエネルギー政策について】

- 原子力発電は、将来0にする。再稼動はするべきではない。自然エネルギーへの移行。核のゴミの問題を先におくりにすべきではない。(40代)
- 原発はアンダーコントロールされていないので、さっさと全て廃炉にして、違うエネルギーを推進しましょう。再稼動などんでもない話。(40代)
- 浜通りが世界の原子力に関する最先端を担う場所になっていくくれたらいいな、と思っています。(60代)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

浪江町 住民意向調査

～「町内のまちづくり」「町外の支援の方向性」へのご意向をお聞かせください～

【この調査について】

●調査対象者：各世帯の代表者

※ 現在の世帯が何カ所かに分かれて避難されている場合は、それぞれの場所にお住まいの代表者の方

●実施主体：復興庁・福島県・浪江町

●提出期限：12月25日（月）まで

※ 記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。
（切手は不要です。）

●ご回答にあたっての注意事項

- ・ご氏名などを記入していただく「記名式」の手法でお願いしています。
- ・次のページに「氏名」、「住所」、「連絡先（電話番号）」の記入をお願いします。

以下の方法でご回答ください。

- ・選択肢のうち、当てはまる番号を選び、その番号に ○ を記入してください。
- ・「その他」に ○ をされた場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ・内には、具体的な内容（地域、数など）を記入してください。

●この意向調査で得られた情報（個人情報を含む）の取り扱い

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、浪江町、福島県及び復興庁において適切に管理し、各種施策の検討・推進の目的以外には使用いたしません。
- ・また、回答はすべて統計的な処理を行いますので、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

※ この意向調査への回答は、あくまでも現在の考えを聞くものであり、町内に戻ることを求めるものではありません。

【お問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-901-842

[設置期間：12月12日（火）～12月25日（月）10時～17時
（土・日・祝を除く）]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
避難地域振興局 生活拠点課
電話：024-521-8617

浪江町

〒979-1192 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
企画財政課 企画調整係 住民意向調査担当
電話：0240-34-0240

はじめに、ご記入いただく「あなた」ご自身のことについて教えてください。

本調査は、今後の町内のまちづくりや町外の支援の方向性などに関して、住民のみなさまのご意見やご要望をお伺いすることを目的に実施するものです。

早期に安定的な生活環境を整えるため、ご回答をいただいた内容について、より詳しくお聞きする場合がありますので、ご回答者の氏名と現在のご住所、ご連絡先のご記入にご協力をよろしくお願いいたします。

F1 あなたの氏名を教えてください。

F2 現在と震災前のあなたの住所を教えてください。(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

現在の 住所	
震災前の 住所	浪江町大字 _____ 字 _____

※現在のご住所が、浪江町へお届けの住所と異なる場合は、改めて「避難住民届」を提出してください。このアンケートをもって届出とすることはできません。

F3 あなたの連絡先(電話番号)を教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 1 あなたの現在の性別と年齢を教えてください。

(1) 性別 (○は1つ)

1. 男性

2. 女性

(2) 年齢 (○は1つ)

1. ～19歳

2. 20～24歳

3. 25～29歳

4. 30～34歳

5. 35～39歳

6. 40～44歳

7. 45～49歳

8. 50～54歳

9. 55～59歳

10. 60～64歳

11. 65～69歳

12. 70～74歳

13. 75～79歳

14. 80歳以上

【すべての方にうかがいます。】

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種と今後の継続意向も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)

2. 自営業・会社経営者(休業中)

3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)

4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)

5. 団体職員

6. 公務員

7. パート・アルバイト

8. 学生

9. 無職(職を探していない)

10. 無職(職を探している)

11. その他(具体的に

⇒問 3 へ

【問 2 (1) で「1」から「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

1. 農業

2. 林業

3. 漁業

4. 畜産業

5. 建設業

6. 製造業

7. 電気・ガス・水道業

8. 運輸業

9. 卸売業

10. 小売り業

11. 宿泊業

12. 飲食サービス業

13. 生活関連サービス業

(理容・美容・洗濯など)

14. サービス業(他に分類されないもの)

15. 金融業

16. 保険業

17. 医療

18. 福祉・介護

19. 教育

20. 公務

21. その他(具体的に

Ⅳ 参考資料

【問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方にうかがいます。】

(3) 今後の継続 (○は1つ)

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 町外で働いており、今後も同じ職場で働きたい | } ⇒問3へ |
| 2. 町内で働いており、今後も同じ職場で働きたい | |
| <hr/> | |
| 3. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい | |
| <hr/> | |
| 4. 今後、浪江町外の職場で働きたい | } ⇒問3へ |
| 5. 今後、働き続ける予定はない | |
| 6. 分からない | |

→【問2(3)で「3. 今後、浪江町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

今後希望する職業・業種を教えてください。なお、2つ以上の職業・業種を希望する場合は、主な収入源にしたいと考えている職業・業種を教えてください。

(4) 職業(就業形態) (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | } ⇒問3へ |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | |
| 4. 団体職員 | |
| 5. 公務員 | |
| 6. パート・アルバイト | |
| | 7. シルバー人材センター |
| | 8. 地域貢献活動 |
| | (防犯パトロールなど) |
| | 9. 特に希望はない |
| | 10. その他(具体的に |

【問2(4)で「1」から「6」、「10」と回答した方にうかがいます。】

(5) 業種 (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 農業 | 12. 飲食サービス業 |
| 2. 林業 | 13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) |
| 3. 漁業 | 14. サービス業(他に分類されないもの) |
| 4. 畜産業 | 15. 金融業 |
| 5. 建設業 | 16. 保険業 |
| 6. 製造業 | 17. 医療 |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 18. 福祉・介護 |
| 8. 運輸業 | 19. 教育 |
| 9. 卸売業 | 20. 公務 |
| 10. 小売り業 | 21. その他(具体的に |
| 11. 宿泊業 | |

東日本大震災発生時および震災前の、あなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 1. 1区 | 14. 高瀬 | 27. 田尻 | 40. 西台 |
| 2. 2区 | 15. 幾世橋 | 28. 末ノ森 | 41. 藤橋 |
| 3. 3区 | 16. 北幾世橋北 | 29. 大堀 | 42. 羽附 |
| 4. 4区 | 17. 北幾世橋南 | 30. 小野田 | 43. 津島 |
| 5. 5区 | 18. 北棚塩 | 31. 谷津田 | 44. 下津島 |
| 6. 6区 | 19. 南棚塩 | 32. 酒井 | 45. 南津島上 |
| 7. 7区 | 20. 請戸北 | 33. 室原 | 46. 南津島下 |
| 8. 8区 | 21. 請戸南 | 34. 立野上 | 47. 赤宇木 |
| 9. 佐屋前 | 22. 中浜 | 35. 立野中 | 48. 手七郎 |
| 10. 川添北 | 23. 両竹 | 36. 立野下 | 49. 大昼 |
| 11. 川添南 | 24. 小丸 | 37. 荻宿 | 50. 分からない |
| 12. 上ノ原 | 25. 畑川 | 38. 加倉 | |
| 13. 樋渡・牛渡 | 26. 井手 | 39. 酒田 | |

【すべての方にうかがいます。】

問 4 震災発生当時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上 18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上 65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 5 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 具体的に |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅
(社宅、公務員宿舎など) | |

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 6 あなたが現在住まわれている市町村を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】

1. いわき市
2. 相馬市
3. 南相馬市
4. 浪江町
5. 富岡町
6. 広野町
7. 檜葉町
8. 川内村
9. 新地町

【 中 通 り 】

10. 福島市
11. 郡山市
12. 白河市
13. 須賀川市
14. 二本松市
15. 田村市
16. 伊達市
17. 本宮市
18. 桑折町
19. 川俣町
20. 大玉村
21. 西郷村
22. 三春町

【 会 津 】

23. 会津若松市
24. 喜多方市
25. 会津美里町

【 福島県内のその他の市町村(1から25以外) 】

26. 福島県内のその他の市町村
→具体的にご記入ください

(市・町・村)

【 福島県外 】

27. 福島県外
→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・町・村)

【すべての方にうかがいます。】

問 7 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15 歳以上 18 歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18 歳以上 65 歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 8 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

1. 仮設住宅(プレハブ型。無償)
2. 借上住宅(民間住宅・公営住宅
などの借り上げ型。無償)
3. 公営住宅(有償)
4. 民間賃貸住宅(有償)
5. 給与住宅(社宅など)
6. 家族のどなたかのお住まい・
実家

⇒問 9 へ

7. 親戚・知人宅 ⇒問 9 へ
8. 持ち家(ご本人またはご家族所有)

9. その他 ^{⇒問 8-1 へ}
具体的に ⇒問 9 へ

【問 8 で「8. 持ち家（ご本人またはご家族所有）」と回答した方にうかがいます。】

問 8-1 現在お住まいになっている持ち家についての状況をお答えください。

持ち家の取得形態 (○は1つ)	1. 新築した 2. 建売住宅を購入した 3. 分譲マンションを購入した 4. 中古住宅を購入した	5. 元から所有していた 6. その他 〔具体的に〕
持ち家取得前に 住んでいた住宅の 住居形態 (○は1つ)	1. 仮設住宅(プレハブ型。無償) 2. 借上住宅(民間住宅・公営住宅 などの借り上げ型。無償)	3. 民間賃貸住宅(有償) 4. その他 〔具体的に〕
持ち家に入居後の 問題など (○はいくつでも)	1. 周辺の状況がわからない 2. 地域の方と打ち解けられない 3. 浪江町の方がいないので 話がしにくい 4. 原子力発電所事故による避難者 ということを知られたくない	5. その他 〔具体的に〕 6. 特に問題はない

【すべての方にうかがいます。】

問 9 浪江町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

1. すでに浪江町に帰還している	⇒問 9-1 へ
2. すぐに・いずれ帰還したいと考えている	⇒問 10 へ
3. まだ判断がつかない	
4. 帰還しないと決めている	

【問 9 で「1. すでに浪江町に帰還している」と回答した方にうかがいます。】

問 9-1 浪江町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。
(○はいくつでも)

1. 防犯体制の強化 2. 雇用確保の支援 3. 商業施設の再開・充実 4. 鉄道等の公共交通機関の再開・充実 5. 医療施設の拡充 6. 介護・福祉施設の再開・充実 7. 町内コミュニティ活動への支援 8. 水道水等、生活用水の安全対策	9. 公営住宅の整備 10. 教育環境の充実 11. 継続的な健康管理等、放射線に対する 不安解消への取組、線量低減対策 12. その他 〔具体的に〕
--	--

問 9-2 問 9-1 で選択した「必要だと感じていること」のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その「必要だと感じていること」について、自由なお考えをご回答ください。

問 9-1 の 選択肢番号	お考え
(例) 3	町内事業再開の支援を拡充してほしい

➡ 問 15(13 ページ)へ

Ⅳ 参考資料

【問 9 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 10 あなたは現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。「1」から「5」の中から1つ選んでください。(○は1つ)

1. 頻繁に戻っている
2. 週に半分程度戻っている
3. 月に1回程度戻っている
4. ほとんど戻っていない
5. その他(具体的に)

【問 9 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 10-1 あなたのご家族は現在、浪江町にどのくらいの頻度で定期的に戻られていますか。「1」から「6」の中から1つ選んでください。(○は1つ)

1. 家族の一部はすでに帰還している
2. 頻繁に戻っている
3. 週に半分程度戻っている
4. 月に1回程度戻っている
5. ほとんど戻っていない
6. その他(具体的に)

【問 9 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 10-2 あなたもしくはあなたのご家族が浪江町に定期的に戻られる理由は何ですか。
(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 財産(自宅やお墓等)の管理をするため2. 地域の行事に参加するため3. 心身のリフレッシュをするため4. 地域の復興組合の作業のため5. 家族に会いにいくため6. 知人に会いにいくため7. 仕事のため8. その他(具体的に) | } | ⇒ | <p>問 9 で「2」と答えた方は問 11 へ</p> <p>問 9 で「3」と答えた方は問 12 へ</p> <p>問 9 で「4」と答えた方は問 13 へ</p> |
|---|---|---|---|

【問 9 で「2. すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問 11 帰還する場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|-------------|------------|-------------|
| 1. 家族の全員 | } ⇒問 11-1 へ | 3. 現在検討中 | } ⇒問 11-2 へ |
| 2. 家族の一部 | | 4. まだ分からない | |

【問 11 で「1. 家族の全員」「2. 家族の一部」と回答した方にうかがいます。】

問 11-1 帰還する場合の家族の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15 歳以上 18 歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18 歳以上 65 歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

【問 9 で「2. すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問 11-2 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。(○は1つ)

【元の住居と違う場所】

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 新たに一戸建の持ち家を新築 | } ⇒問 11-3 へ |
| 2. 新たに一戸建の持ち家を購入 | |
| 3. 新たに民間賃貸住宅(一戸建)を借用 | |
| 4. 新たに民間賃貸住宅(集合住宅)を借用 | |
| 5. 新しくできる(災害)公営住宅 | |

【元の住居と同じ場所】

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 6. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む) | } ⇒問 11-5 へ |
| 7. 元の民間賃貸住宅(一戸建) | |
| 8. 元の民間賃貸住宅(集合住宅) | |
| 9. 元の町営住宅 | |
| 10. 元の給与住宅(社宅など) | |
| 11. 家族のどなたかのお住まい・実家 | |
| 12. 親戚・知人宅 | |
| 13. その他(具体的に) | |
| 14. 現時点では判断できない | |

【問 11-2 で「1」から「5」と回答した方にうかがいます。】

問 11-3 元の住居と違う場所を希望される理由は、何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 帰還困難区域だから | } ⇒問 11-4 へ |
| 2. 元の住居周辺の放射線量の高さが心配だから | |
| 3. 元の住居周辺に住む人が少ないと思うから | |
| 4. 浪江町の新たな場所で生活を開始したいから | |
| 5. 今後、津波の被害を受けることが心配だから | |
| 6. 津波被災により災害危険区域となったため住めないから | |
| 7. 元の住居が荒廃しているから | |
| 8. その他(具体的に) | |

【問 11-2 で「1」から「5」と回答した方にうかがいます。】

問 11-4 町内のどの地区にお住まいを希望されますか。(○は1つ)

1. 住まいの希望先を決めている(具体的に 行政区)
2. 現在、住まいの希望先を検討している
3. 現時点で判断できない

【問 9 で「2. すぐに・いずれ帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問 11-5 浪江町へ帰還する時期を教えてください。(○は1つ)

1. すぐに帰還したい ⇒問 11-6 へ
 2. いずれ帰還したい(数年で帰りたい(5 年以内))
 3. いずれ帰還したい(当面は帰ることができないが、いずれ帰りたい(5 年以降))
 4. いずれ帰還したい(分からない)
- } ⇒問 11-8 へ

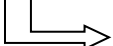
【問 11-5 で「1. すぐに帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問 11-6 浪江町に帰還する場合に、不足していると感じるものを教えてください。(○はいくつでも)

1. 被ばく低減対策
2. 住宅の修繕や建て替えへの支援
3. 住宅の新築・購入の支援
4. 災害公営住宅や民間賃貸住宅への入居支援
5. 買い物への支援
6. 健康や介護に関する支援
7. 子育てや学校教育への支援、生活交通の支援
8. 雇用確保・就業支援
9. 携帯電話やインターネット等通信環境の改善
10. その他(具体的に)
11. 特にない

【問 11-5 で「1. すぐに帰還したい」と回答した方にうかがいます。】

問 11-7 浪江町に帰還したら、すぐにでもやりたいことを教えてください。(自由記載)

 問 15(13 ページ)へ

【問 11-5 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 11-8 帰還する時期を判断する条件を教えてください。(○はいくつでも)

1. 仕事(事業再開を含む)ができるようになること
2. 元の家屋に住めるようになること
3. 住宅の新築や購入ができる環境が整うこと
4. 町内の災害公営住宅などの賃貸住宅が整うこと
5. 鉄道やバスなどの公共交通が整うこと
6. 医療・介護などが整うこと
7. 商業やサービス業などの施設が整うこと
8. 教育環境が整うこと
9. 避難中の今の場所での子育てを終えるまで
10. 住民の帰還がある程度進んでから
11. 放射線量の低下や除染成果が分かってから
12. 放射線の人体への影響が分かってから
13. 中間貯蔵施設の状況が分かってから
14. 原子力発電所が安全と分かってから
15. 受け取る賠償額が分かってから
16. その他(具体的に)
17. 分からない

⇒問 14 へ

【問 9 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 12 浪江町へ帰還することを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

1. 避難指示解除となる時期の目安に関する情報
2. 働く場の確保の目途
3. 元の住宅の住宅修繕に関する情報
4. 住宅確保への支援に関する情報
5. 鉄道やバスなどの公共機関の復旧時期の目途
6. 医療・介護の復旧時期の目途
7. 商業やサービス業などの施設の復旧時期の目途
8. 学校などの教育環境の復旧時期の目途
9. どの程度の住民が戻るかの状況
10. 放射線量の低下の目途、除染成果の状況
11. 放射線の人体への影響に関する情報
12. 中間貯蔵施設の情報
13. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
14. 受け取る賠償額の確定
15. その他(具体的に)
16. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
17. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない

⇒問 14 へ

【問9で「4. 帰還しないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問13 現時点で帰還しないと決めている理由を教えてください。(○はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

} ⇒問14へ

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 浪江町に戻っても仕事がなさそうだから
5. 浪江町での事業の再開が難しいから
6. 営農などができそうにないから
7. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
8. 浪江町外への移動交通が不便だから
9. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
10. 医療環境に不安があるから
11. 介護・福祉サービスに不安があるから
12. 教育環境に不安があるから
13. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから
14. 帰還困難区域内だから

} ⇒問14へ

【今後の生活に関わるもの】

15. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
18. 帰還までに時間がかかるから
19. 避難先で仕事を見つけているから
20. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
21. 避難先の方が生活利便性が高いから
22. 家族(親または子ども・孫)が帰らないから
23. その他(具体的に

)

【問13で「4」から「6」と回答した方にうかがいます。】

問13-1 町内でどのような職業・業種に就くことができれば、浪江町に帰還したいと思いますか。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

1. 自営業・会社経営者
2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)
3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)
4. 団体職員
5. 公務員
6. パート・アルバイト

7. シルバー人材センター
8. 地域貢献活動
(防犯パトロールなど)
9. 特に希望はない
10. その他(具体的に

} ⇒問14へ

}

【問 13-1 (1) で「1」から「6」、「10」と回答した方にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 農業 | 12. 飲食サービス業 |
| 2. 林業 | 13. 生活関連サービス業(理容・美容・洗濯など) |
| 3. 漁業 | 14. サービス業(他に分類されないもの) |
| 4. 畜産業 | 15. 金融業 |
| 5. 建設業 | 16. 保険業 |
| 6. 製造業 | 17. 医療 |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 18. 福祉・介護 |
| 8. 運輸業 | 19. 教育 |
| 9. 卸売業 | 20. 公務 |
| 10. 小売り業 | 21. その他〔具体的に |
| 11. 宿泊業 | 〕 |

【問 9 で「3. まだ判断がつかない」「4. 帰還しないと決めている」、問 11-5 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 14 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後、居住を希望する市町村(現在のお住まいのままの方は現在の市町村)はどちらですか。その市町村を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】

1. いわき市
2. 相馬市
3. 南相馬市
4. 富岡町
5. 広野町
6. 檜葉町
7. 川内村
8. 新地町

【 中 通 り 】

9. 福島市
10. 郡山市
11. 白河市
12. 須賀川市
13. 二本松市
14. 田村市
15. 伊達市
16. 本宮市
17. 桑折町
18. 川俣町
19. 大玉村
20. 西郷村
21. 三春町

【 会 津 】

22. 会津若松市
23. 喜多方市
24. 会津美里町

【 福島県内のその他の市町村(1から24以外) 】

25. 福島県内のその他の市町村
→具体的にご記入ください

(市・町・村)

【 福島県外 】

26. 福島県外
→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・町・村)

【 その他 】

27. 決めかねている

IV 參考資料

【問 9 で「3. まだ判断がつかない」「4. 帰還しないと決めている」、問 11-5 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 14-1 帰還しない場合または帰還するまでの間、今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | <div style="font-size: 3em; vertical-align: middle; margin-right: 10px;">{</div> <div>具体的に</div> |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

【問 9 で「3. まだ判断がつかない」「4. 帰還しないと決めている」、問 11-5 で「2」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 14-2 帰還しない場合または帰還するまでの間、浪江町との関係や必要な支援について教えてください。

(1) 浪江町との関係(○はいくつでも)

1. 移転した場所に住みながら、定期的に浪江町に行き来したい
2. 浪江町の祭事などに参加したい
3. 浪江町の地域活動や行政に協力していきたい
4. ふるさと納税などで協力していきたい
5. その他(具体的に
6. 浪江町との関係性はなくてもよい

(2) 必要な支援(○はいくつでも)

1. 浪江町の情報の提供
2. 賠償請求に関する支援
3. 住宅再建の支援情報の提供
4. 就労の支援情報の提供
5. 交流の場の開催
6. その他(具体的に
7. 支援は特にいない

【すべての方にうかがいます。】

問 15 震災前に浪江町でお住まいだった地区について、将来、望む姿について教えてください。
(自由記載)

--

不動産（土地・家屋）の取り扱い意向についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 16 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いのはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|---|--|
| 1. 既に使用している
2. 解体して建て替えたい
3. 解体して更地にする
4. 修繕して自ら使いたい
5. 親戚・親族・友人に使ってもらいたい
6. 行政や事業者に使ってもらいたい(売却・賃貸を含む) | 7. 今後判断したい
8. 保有している家屋はない
9. その他
[具体的に] |
|---|--|

【すべての方にうかがいます。】

問 17 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. 既に使用している
2. 自ら使いたい
3. 親戚・親族・友人に使ってもらいたい
4. 行政や事業者に使ってもらいたい
5. 今後判断したい | 6. 保有している宅地はない
7. その他
[具体的に] |
|--|--------------------------------------|

【すべての方にうかがいます。】

問 18 町内に保有している農地(田・畑)の利用意向についてうかがいます。

現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 既に保全管理または
営農を再開している ⇒問 19 へ
2. 保全管理したい
3. 営農を再開したい } ⇒問 18-1 へ
4. 売却または賃貸したい
5. 保有している農地はない } ⇒問 19 へ | 6. その他
[具体的に] |
|---|--------------------|
- ⇒問 19 へ

【問 18 で「2. 保全管理したい」「3. 営農を再開したい」と回答した方にうかがいます。】

問 18-1 今後、各行政区において農地の保全を目的とする組合が設立された場合(すでに設立されている地区を含む)、現時点でのお考えをお聞かせ下さい。（○は1つ）

- | |
|---|
| 1. 組合に加入して、保全管理に参加したい
2. 組合に加入しないが、保全管理は組合に任せたい
3. 組合に加入しないが、自ら保全管理または営農再開したい |
|---|

町からの情報についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 19 浪江町に関する情報を、どこでお知りになりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 浪江町広報紙 | 7. 新聞(福島県内の地方紙) |
| 2. 浪江町メールマガジン | 8. 新聞(全国紙、福島県以外の地方紙) |
| 3. なみえ新聞(タブレット) | 9. テレビ |
| 4. 浪江町ホームページ | 10. ラジオ |
| 5. 浪江町フェイスブック(つながろうなみえ) | 11. 友人・知人からの口コミ |
| 6. 地域情報メディア(なみえまるみえ) | |

【すべての方にうかがいます。】

問 20 浪江町役場からの情報提供にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 4. あまり満足していない |
| 2. やや満足している | 5. 満足していない |
| 3. どちらともいえない | |

【すべての方にうかがいます。】

問 21 ホームページ、広報誌、浪江新聞で、浪江町役場から提供してほしい情報はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 現在の浪江町内の様子 | 7. こども園・小中学校の情報 |
| 2. 復興計画の進行状況 | 8. 浪江町民の声 |
| 3. 浪江町内の求人情報 | 9. 除染の進捗状況 |
| 4. 浪江町民からのよくある質問 | 10. 浪江町長の動向 |
| 5. 昔なつかしい浪江町内の写真 | 11. 浪江町議会の様子 |
| 6. 浪江町内でのイベントの様子 | 12. 賠償に関する動向 |

【すべての方にうかがいます。】

問 22 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
12月25日（月）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**浪江町 住民意向調査
報告書**

平成30年3月

復興庁 福島県 浪江町

調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター

